

平成 25 年 度 大 学 入 学 者 選 抜

大学入試センター試験 受験案内 25

出願期間 平成 24 年 10 月 1 日(月)～12 日(金)

試験期日 平成 25 年 1 月 19 日(土)・20 日(日)

★ 受験特別措置を希望する場合は、「出願前申請」ができます。

出願前申請受付 平成 24 年 8 月 1 日(水)～9 月 28 日(金)

この「受験案内」は、大学の入学手続きが終わるまで大切に保管してください。

はじめに【必ず読むこと！】

この冊子には、「検定料の払込みなど、大学入試センター試験の出願の際に誰もが行わなければならない重要な手続」と「受験票の再発行申請など、いざという時に必要な手続」が解説されています。出願前に必ずこの冊子を精読し、出願手続や試験の制度について十分に理解するようにしてください。

1 志望大学の利用教科・科目の確認について

大学入試センター試験に参加する大学は、入学志願者が大学入試センター試験において解答すべき教科・科目やその成績の入学者選抜における取扱いなどを、それぞれ定めています。志望大学の募集要項等でそれらをよく確認して、大学入試センター試験を受験してください。

2 受験教科事前登録制について

大学入試センター試験を受験するに当たっては、受験教科名及び科目数等について、あらかじめ出願時に申し出て、登録する必要があります（→p.12）。

これらの登録を正しく行わないと、希望する教科等を受験することができませんので、制度の内容をよく理解した上で出願してください。

3 受験特別措置の出願前申請について

大学入試センター試験の受験に際し、病気・負傷や障害等のために、解答方法、試験室、座席及び所持品等について特別の措置を希望する場合は、**受験特別措置**を申請することができます。

この受験特別措置については、措置内容によって審査に時間がかかる場合もあるため、出願に先立って申請（平成24年8月1日（水）～9月28日（金）まで）を受け付けます。受験特別措置を希望する場合は、できるだけ出願前申請を行ってください（→p.14）。

4 リスニングで使用するイヤホンについて

リスニングではイヤホンを使用します。リスニング受験希望者はイヤホンが事前に耳に合うかを確認し、イヤホンが耳の形に合わず装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、出願時に**イヤホン不適合措置**を申請してください（→p.40）。使用するイヤホンは、在学する（又は出身）高等学校やセンター試験参加大学で実際に試してみることができます。なお、試験当日にイヤホンが耳の形に合わないとし申し出ても、ヘッドホンの貸与は一切行いません。

5 登録内容の確認について

大学入試センターは出願書類を受理したのち、11月5日（月）までに届くように**確認はがき**（出願受理通知）を送付します。確認はがきは、大学入試センターに出願が受理されたことを通知するとともに、志願票記入事項のうち、受験教科名等の特に重要な登録内容を記載したものです。受領後は直ちに、登録内容の表示に誤りがないか確認してください（→p.23）。

万一、登録内容の表示に誤りがある場合や、志願票への記入誤り等により登録内容の訂正が必要となった場合は、直ちに大学入試センターに届け出てください。

また、大学入試センター試験の**受験票**（12月13日（木）までに到着）にも登録内容を表示しますので、再度、確認してください（→p.26）。

目次

A 試験概要

1 平成25年度大学入試センター試験の主な変更点	2 ページ
2 平成25年度大学入試センター試験実施日程	3
3 出題教科・科目等	4
4 試験期日・試験時間割	5

B 出願

1 出願資格と証明書類	6
2 出願期間と出願方法等	11
3 受験教科事前登録制について	12
4 受験特別措置	13
5 成績通知	15
6 志願票の記入方法	16
7 検定料及び成績通知手数料の払込方法	21

C 出願後

1 確認はがき（出願受理通知）～登録内容の確認	23
2 受験票・写真票・成績請求票・成績通知変更届	26
3 試験場の指定	28
4 出願後の各種手続	30
5 出願後の不慮の事故等による受験特別措置	34

D リスニング

1 リスニングの概要	35
2 リスニング受験上の注意	35
3 リスニングの進行	36
4 ICプレーヤーの操作	38
5 ICプレーヤーの操作体験	40
6 イヤホンが装着できない場合	40
7 解答時間中の事故等と再開テスト	41

E 試験

1 受験に当たっての主な注意事項	42
2 追試験及び再試験	46

F 試験実施後

1 正解・平均点等の発表	47
2 得点の調整	47
3 試験成績の大学への提供方法	48

G その他

1 過年度の大学入試センター試験の成績を利用する選抜	49
2 志望大学に確認すること	49
3 個人情報の取扱い	50

H 高等学校等コード表

1 高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校	51
2 高等学校卒業程度認定試験等、外国の学校等、 文部科学大臣の指定した者、認定、在外教育施設、専修学校の 高等課程	68

試験概要

出願

出願後

リスニング

試験

試験実施後

その他

高等学校等コード表

A 試験概要

1 平成25年度大学入試センター試験の主な変更点

(1) 地理歴史と公民の登録方法及び試験実施方法について

地理歴史と公民は、これまでどおり、それぞれ独立した教科として出題しますが、出願時に受験教科を登録する際や試験当日受験する際は、この2つの教科を合わせて1教科として扱います。

① 受験教科の登録方法

昨年度は、地理歴史及び公民から1科目又は2科目を受験する場合は、出願時に受験する教科と科目数の組合せをあらかじめ決めてから登録する必要がありました。

今年度は、地理歴史、公民については、1つの教科のみを受験する場合でも、2つの教科を受験する場合でも、「地理歴史、公民」の1教科として登録し、その上で受験科目数のみを選択して登録します。試験当日は、登録された受験科目数にしたがって、地理歴史と公民を合わせた10科目の中から解答科目を選択することができます。

【昨年度】

次の6つのうちから1つを選択して登録

- A…地理歴史のみ1科目受験
- B…地理歴史のみ2科目受験
- C…公民のみ1科目受験
- D…公民のみ2科目受験
- E…地理歴史1科目、公民1科目を受験
- F…地理歴史、公民どちらも受験しない

変更

【今年度】

次の3つのうちから1つを選択して登録

- A…1科目受験
- B…2科目受験
- X…受験しない

※ 例えば、「A」を選択した場合は、試験当日に、地理歴史と公民を合わせた10科目の中から自由に1つの解答科目を選択することができます。

② 検定料の計算方法

検定料は、昨年同様、受験教科数が3教科以上の場合は18,000円、2教科以下の場合は12,000円ですが、今年度は、検定料を計算する際には、地理歴史と公民の2教科を合わせて1教科として数えます。

例えば、次のように国語、地理歴史、公民の3教科を受験する場合、昨年度と今年度では検定料の金額が異なってきます。

【昨年度】

国語…1教科
地理歴史…1教科
公民…1教科
合計3教科なので、検定料は18,000円

変更

【今年度】

国語…1教科
地理歴史 } 合わせて1教科として数える
公民 }
合計2教科と数えるので、検定料は12,000円

③ 問題冊子の配付方法

昨年度は、試験当日に配付される問題冊子が、出願時の受験教科の登録内容によって、「地理歴史1冊のみ」、「公民1冊のみ」、又は「地理歴史と公民の2冊」の3パターンありましたが、今年度は、登録内容にかかわらず、全ての受験者に、パッケージ化された「地理歴史と公民の2冊」が配付されます。試験当日は、登録された受験科目数にしたがって、地理歴史と公民を合わせた10科目の中から解答科目を選択することができます。

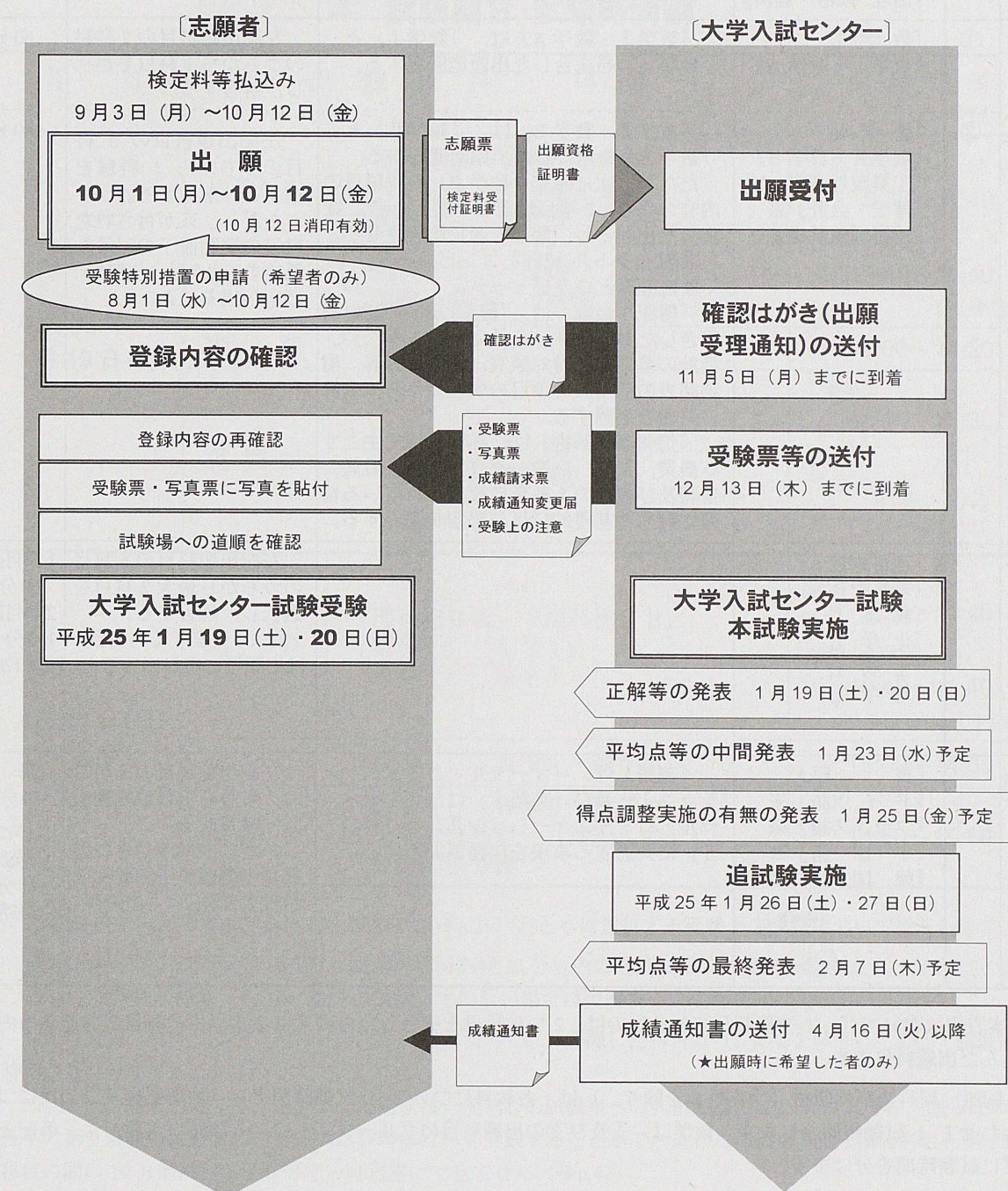
(2) 受験教科等の登録内容の訂正について (→p.23)

受験教科等の登録内容について、昨年度は、出願後の変更は認めていませんでしたが、今年度は、志願票への記入誤り等により受験教科等の訂正が必要となった場合は、登録内容について訂正することができます。

(3) 試験成績の大学への提供方法について (→p.48)

地理歴史、公民又は理科の試験時間において2科目を受験した場合は、昨年度は、大学が1科目のみの利用を指定している場合も「2科目それぞれの得点とその合計点」を提供していましたが、今年度は、大学からの請求に基づき、「2科目それぞれの得点とその合計点」又は「第1解答科目のみの得点」のいずれかを提供します。

2 平成25年度大学入試センター試験実施日程



3 出題教科・科目等

教科	グループ	出題科目 (→注1)	出題方法等	科目選択の方法	試験時間(配点) (→注2)
国語		『国語』	『国語総合』, 『国語表現Ⅰ』の内容を出題範囲とし, 近代以降の文章, 古典(古文, 漢文)を出題する(→注3)。		80分(200点)
地理歴史		「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」		左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し, 解答する。 ただし, 同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない(→注4)。 なお, 受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (→注5)
公民		「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『倫理, 政治・経済』は, 「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。		
数 学	①	「数学Ⅰ」 『数学Ⅰ・数学A』	『数学Ⅰ・数学A』は, 「数学Ⅰ」と「数学A」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し, 解答する。	60分(100点)
	②	「数学Ⅱ」 『数学Ⅱ・数学B』 「工業数理基礎」※ 『簿記・会計』※ 『情報関係基礎』※	『数学Ⅱ・数学B』は, 「数学Ⅱ」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし, 次に記す「数学B」の4項目の内容のうち, 2項目以上を学習した者に対応した出題とし, 問題を選択解答させる。 〔数列, ベクトル, 統計とコンピュータ, 数値計算とコンピュータ〕 『簿記・会計』は, 『簿記』及び「会計」を総合した出題範囲とし, 「会計」については, 会計の基礎, 貸借対照表, 損益計算書, 財務諸表の活用の4項目の内容のうち, 会計の基礎を出題する。 『情報関係基礎』は, 専門教育を主とする農業, 工業, 商業, 水産, 家庭, 看護, 情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し, 解答する。 ただし, ※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は, 出願時に申し出ること。	60分(100点)
理科		「理科総合A」 「理科総合B」 「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 「地学Ⅰ」		左記出題科目の6科目のうちから最大2科目を選択し, 解答する。 なお, 受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (→注5)
外国語		『英語』 『ドイツ語』※ 『フランス語』※ 『中国語』※ 『韓国語』※ (→注6)	『英語』は, 「オーラル・コミュニケーションⅠ」及び「英語Ⅰ」に加えて「オーラル・コミュニケーションⅡ」と「英語Ⅱ」に共通する事項を出題範囲とする。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し, 解答する。 ただし, ※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は, 出願時に申し出ること。	【筆記】 80分(200点) 【リスニング】 (『英語』のみ) 60分 (うち解答時間30分) (50点)

- (注1) 本表中において『 』で記載しているものは, 2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
- (注2) 国語, 理科及び外国語(『英語』を除く。)は, 各教科について1試験時間とし, 地理歴史及び公民については, 合わせて1試験時間とします。数学は, ①及び②の出題科目のグループごとに, 外国語『英語』は, 筆記とリスニングに試験時間を分けます。

- (注3) 『国語』の出題分野別の配点は, 「近代以降の文章(2問100点), 古典(古文(1問50点), 漢文(1問50点))」とします。
なお, 国語の出題分野のうち, 大学が指定した分野のみを解答する場合でも, 国語の試験時間は80分です。
- (注4) 地理歴史及び公民の「科目選択の方法」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは, 「世界史A」と「世界史B」, 「日本史A」と「日本史B」, 「地理A」と「地理B」, 「倫理」と『倫理, 政治・経済』及び「政治・経済」と『倫理, 政治・経済』の組合せを指します。
- (注5) 地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において「2科目受験する」と登録した場合は, 解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行います, 第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え, 試験時間は130分とします。
- (注6) 外国語において『英語』を選択する受験者は, 原則として, 筆記とリスニングの双方を解答してください。リスニングは, 音声問題を用い30分間で解答を行います, 解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え, 試験時間は60分となります。
なお, 『英語』以外の外国語の筆記を受験した場合, リスニングを受験することはできません。

4 試験期日・試験時間割

期 日	出 題 教 科 ・ 科 目		試 験 時 間 (→注1, 2)
平成 25 年 1 月 19 日(土)	地理歴史	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	2科目受験 9:30～11:40 1科目受験 10:40～11:40 (→注3)
	公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」	
	国 語	「国語」	13:00～14:20
	外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	【筆記】 15:10～16:30 ----- 【リスニング】 「英語」のみ 17:10～18:10
1 月 20 日(日)	理 科	「理科総合A」 「理科総合B」 「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 「地学Ⅰ」	2科目受験 9:30～11:40 1科目受験 10:40～11:40 (→注3)
	数 学 ①	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」	13:00～14:00
	数 学 ②	「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」 「工業数理基礎」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	14:50～15:50

- (注1) 試験室への入室時刻については, 受験票(→p.26)とともに送付する受験上の注意において指示します。
- (注2) 試験開始時刻に遅刻した場合は, 試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り, 受験を認めます。ただし, リスニングは, 試験開始時刻(17:10)までに入室していない場合は受験することができません。
- (注3) 「地理歴史, 公民」及び「理科」の試験時間については, 登録した科目数(1又は2科目)によって試験開始時刻が異なります。
なお, 「2科目受験する」と登録した場合は, 遅刻者の試験室への入室限度である9:50までに入室しないと, 後半の第2解答科目を含めて, その試験時間は一切受験することができません。また, 第1解答科目と第2解答科目の間の10分間は, トイレ等で一時退室はできません(→p.42)。

B

出 願

1 出願資格と証明書類

出 B

願

平成 25 年度大学入試センター試験に出願できる者は大学入試センター試験に参加する大学へ入学を志願し、次表のいずれかの出願資格に該当する者です。提出が必要な資格証明書は、次表のとおりです。

＊ 出願資格及び出願資格を証明する書類について疑問がある場合は、出願期間の前にできるだけ早く大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に問い合わせてください。特に外国の学校等の資格で出願する志願者は、出願資格の確認等に時間を要する場合がありますので、早めに問い合わせてください（→注 1-1）。

出 願 資 格		資 格 証 明 書
「高等学校」（特別支援学校の高等部を含む。）又は「中等教育学校」を平成 25 年 3 月卒業見込みの者		不要（学校長が一括証明）
「高等学校」（特別支援学校の高等部を含む。）又は「中等教育学校」を卒業した者		卒業証明書（原本） ＊出身学校長が発行するもの ＊発行年月日は問わない。 ＊調査書・成績証明書は不可 ＊旧姓（名）の卒業証明書を使用する場合は、「婚姻により（旧姓）から（現姓）になった」などのように、姓（名）が変わった理由を証明書の余白に記載すること。
「高等専門学校」第 3 学年を修了した者又は平成 25 年 3 月修了見込みの者		第 3 学年修了若しくは修了見込みの証明書又は卒業証明書（原本） ＊高等専門学校長が発行するもの
外国の学校等	外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又は平成 25 年 3 月 31 日までに修了見込みの者（→注 1-1）	当該課程の修了又は修了見込みを証明する書類（Diploma）などのコピー ＊出身学校長が発行するもの
	上欄に準ずる者（→注 1-2～1-4）	教育施設の当該課程の修了又は修了見込みを証明する書類のコピー ＊当該教育施設の長が発行するもの 又は検定の合格証書のコピー ＊検定試験実施機関の長が発行するもの
在外教育施設（→注 2）	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は平成 25 年 3 月 31 日までに修了見込みの者	修了（卒業）又は修了（卒業）見込みの証明書（原本） ＊当該教育施設の長が発行するもの
専修学校の高等課程を卒業（修了）した者又は卒業見込み（修了見込み）の者（→注 3）		卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの証明書（原本） ＊専修学校長が発行するもの

出 B

願

出 願 資 格		資 格 証 明 書
文部科学大臣の指定した者 ＊昭和 23 年文部省告示	海技教育機構（旧海員学校）の本科を卒業した者又は平成 25 年 3 月卒業見込みの者	卒業又は卒業見込みの証明書（原本） ＊学校長が発行するもの
	国際バカロレア資格取得者（→注 4） アビトゥア資格取得者（→注 5） バカロレア資格（フランス共和国）取得者（→注 6）	資格証書のコピー
	国際的な評価団体の認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者又は修了見込みの者（→注 7）	① 修了又は修了見込みの証明書（原本） ② 当該教育施設が認定を受けた証明書（原本） ＊いずれも当該教育施設の長が発行するもの
	その他文部科学大臣の指定した者（旧制諸学校出身者等）（→注 8）	卒業（修了）証明書又はこれに準ずるもののコピー
高等学校卒業程度認定試験等 （問い合わせ等→注 9） ＊平成 25 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの	高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者	合格証書のコピー又は合格証明書（原本） ＊合格証明書は文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課に請求し入手すること。 ＊発行年月日は問わない。
	高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者 ＊科目合格者のうち、合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を、高等学校等で平成 25 年 3 月 31 日までに修得見込みの者（→注 10）	高等学校卒業程度認定試験合格見込成績証明書（原本） ＊文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課に請求し入手すること。 又は次の①及び② ① 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定の「科目合格通知書」のコピー ② 試験科目に相当する科目の単位修得見込証明書（原本） ＊①は文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課に、②は在学する学校にそれぞれ請求し入手すること。
	平成 24 年度第 2 回高等学校卒業程度認定試験に出願している者	平成 25 年度大学入学者選抜大学入試センター試験出願資格申告書 ＊この申告書は平成 24 年度第 2 回高等学校卒業程度認定試験の受験案内に様式が記載されているので、文部科学省から交付された同認定試験受験票のコピーをはり付け、作成すること。
いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者（学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者）であって、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもので平成 25 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの		「その後に入学させる大学」において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたことを証明する書類（原本） ＊当該大学の学長が発行するもの
大学において、個別の入学資格審査による認定を受けた者（→注 11-1・11-2）		認定を受けたことを証明する書類のコピー ＊当該大学の学長が発行するもの

(注 1-1) 外国にある学校（インターナショナルスクール等）の課程を修了した者は、我が国における大学入学資格が認められない場合がありますので、早めに次のものを大学入試センター事業第1課（➡裏表紙）に郵送し（封筒の表面に「出願資格照会」と朱書すること。）出願資格の有無を照会してください。①当該課程の修了又は修了見込みを証明する書類（Diploma など）のコピー，②氏名，住所，電話番号，小学校～高等学校までの履歴を記入した用紙（様式自由）

(注 1-2) 外国において，学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で，平成 25 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの（大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」，アメリカ合衆国の「GED test」等がこれに該当します。）

(注 1-3) 外国において，高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者を含む。）で，文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は次表の上欄及び中欄に掲げる施設において研修並びに同表の下欄に掲げる施設における我が国の大学に入学するために必要な教科に係る教育をもって編成される当該課程を修了し，かつ，平成 25 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

上欄	中国帰国者定着促進センター（埼玉県），大阪中国帰国者定着促進センター，福岡中国帰国者定着促進センター
中欄	北海道，山形県，埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県，長野県，愛知県，京都府，大阪府，広島県，福岡県の各中国帰国者自立研修センター
下欄	埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県，愛知県，京都府，大阪府，広島県，福岡県の各中国帰国者自立研修センター

(注 1-4) 我が国において，高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 12 年の課程を修了したとされるものに限る。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた次の教育施設の当該課程を修了した者又は平成 25 年 3 月 31 日までに修了見込みの者であって，平成 25 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

所在地	平成 23 年 3 月 30 日現在で確認されている教育施設の名称
埼玉県	エスコーラ・インテルクトゥラウ・ユニフィカーダ・アルコ・イリス，コロンビア・インターナショナルスクール
東京都	インドネシア学校東京，カナディアンインターナショナルスクール，東京韓国学校中・高等部，東京中華学校，リセ・フランコ・ジャポネ・ド・東京柳北校（旧リセ・フランコ・ジャポネ・ド・トウキョウ）
神奈川県	東京横浜独逸学園，横浜中華学院
長野県	セントロ・エドカショナル・ノヴォ・ダマスコ
岐阜県	コレージョ・イザキ・ニュートン
静岡県	エスコーラ・アウカンセ，エスコーラ・ノヴァ・エラ，セントロ・エドカショナル・イ・プロフィシオナリザンチーCEPブラジル
愛知県	コレージョ・ブラジルージャボン・プロフェソール・シノダ
三重県	ニッケン学園

* 次の教育施設については，平成 18 年 2 月 6 日以降に修了した者に限ります。（平成 18 年 2 月 5 日以前に修了した者は注 1-3 の準備教育を行う課程を修了する必要があります。）

所在地	平成 23 年 3 月 30 日現在で確認されている教育施設の名称
茨城県	インスチツート・エドゥカレ（旧エスコーラ・ビンゴ・デ・ジェンテ），エスコーラ・エ・クレシェ・ド・グルーボ・オビソン
群馬県	インスチツート・エドカショナル・ジェンテ・ミウダ，インスチツート・エドカショナル・セントロ・ニッポ・ブラジレイロ・デ・オイズミ，エスコーラ・バラレロ各種学校（旧エスコーラ・バラレロ太田校），コレージョ・ピタゴラス・ブラジル太田校
山梨県	アルプス学園（旧コレージョ・ピタゴラス・ブラジル山梨校）

所在地	平成 23 年 3 月 30 日現在で確認されている教育施設の名称
長野県	コレージョ・エ・クレシェ・サウ・エ・ルス，長野日伯学園（旧コレージョ・ピタゴラス・ブラジル長野校）
岐阜県	セントロ・エドカショナル・ノヴァ・エターバ，ソシエダーデ・エドカショナル・ブラジリアン・スクール，HIRO 学園エスコーラ・ブラジレイラ・プロフェソール・カワセ（旧エスコーラ・ブラジレイラ・プロフェソール・カワセ）
静岡県	エスコーラ・ブラジル（旧エスコーラ・ブラジレイラ・デ・ハママツ），コレージョ・ピタゴラス・ブラジル浜松校，伯人学校イーエーエス浜松（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベール浜松校）
愛知県	エスコーラ・サンパウロ，エスコーラ・ネクター，コレージョ・ドン・ボスコ，コレージョ・ピタゴラス・ブラジル愛知校（旧コレージョ・ピタゴラス・ブラジル半田校），伯人学校イーエーエス豊田（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベール豊田校），伯人学校イーエーエス豊橋（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベール豊橋校），伯人学校イーエーエス碧南（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベール碧南校）
三重県	伯人学校イーエーエス鈴鹿（旧エスコーラ・アレグリア・デ・サベール鈴鹿校）
滋賀県	日本ラチーノ学院（旧コレージョ・ラティーノ・デ・シガ）

* 次の教育施設については，注 1-3 の準備教育を行う課程を修了する必要があります。

所在地	平成 23 年 3 月 30 日現在で確認されている教育施設の名称
静岡県	ムンド・デ・アレグリア学校（ペルー共和国の学校の課程と同等の課程に限る。）

* 以上の教育施設については，今後追加されることがあります。

* コレージョ・ピタゴラス・ブラジル真岡校（栃木県），エスコーラ・バラレロ伊勢崎校（旧エスコーラ・バラレロ東村校）（群馬県），セントロ・エドカショナル・カナリーニョ（埼玉県），セントロ・デ・アプレンジザージェン・ロゴス（埼玉県），エスコーラ・バラレロ伊那校（長野県），インスチツート・エドカショナル・エマヌエウ（岐阜県），エスコーラ・ウノ・デ・エデュカソン・インファンチウ・エンシーノ・フンダメンタウ・エ・エンシーノ・メディオ（静岡県），エスコーラ・ニッポ・ブラジレイラ（静岡県），コレージョ・アウレオ（愛知県），京都韓国中学（京都府）を修了した者は大学入試センター事業第 1 課（➡裏表紙）まで照会してください。

(注 2) 早稲田大学系属早稲田渋谷シンガポール校，スイス公文学園，フランス甲南学園トゥレーヌ高等部（旧トゥレーヌ甲南学園），立教英国学院，サウスクイーンズランドアカデミー，帝京ロンドン学園，慶應義塾ニューヨーク学院，上海日本人学校及び如水館バンコクの各高等部がこれに該当します（平成 24 年 4 月 20 日現在）。
下記の教育施設は，在外教育施設としての認定を取り消された又は指定を解除されているが，取り消された又は解除された日以前に修了した者は，文部科学大臣が指定した者に該当します。

教 育 施 設 の 名 称	認定を取り消された又は指定を解除された日
ブレーメン国際日本学園	平成 11 年 12 月 17 日
英国四天王寺学園	平成 13 年 3 月 31 日
英国暁星国際学園	平成 14 年 8 月 14 日
駿台アイルランド国際学校	平成 15 年 3 月 31 日
アルザス成城学園	平成 17 年 3 月 31 日
テネシー明治学院	平成 19 年 3 月 31 日
東海大学付属デンマーク校	平成 20 年 3 月 31 日
ドイツ桐蔭学園	平成 24 年 3 月 31 日

(注 3) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 25 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

(注 4) 国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で平成 25 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

(注 5) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で平成 25 年

3月31日までに18歳に達するもの

(注 6) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で平成 25 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

(注 7) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS）の認定を受けたものに置かれる 12 年の課程を修了した者又は平成 25 年 3 月 31 日までに修了見込みの者で、平成 25 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

* 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体は、今後追加されることがあります。

* 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体に認定されているかどうかは、在学（卒業）している教育施設に確認してください。

所在地	平成 23 年 5 月 18 日現在で確認されている教育施設の名称
北海道	北海道インターナショナルスクール
宮城県	東北インターナショナルスクール
埼玉県	コロンビア・インターナショナルスクール
東京都	セント・メリーズ・インターナショナルスクール、清泉インターナショナル学園、聖心インターナショナルスクール、アメリカンスクール・イン・ジャパン、クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン、カナディアンインターナショナルスクール
神奈川県	サンモール・インターナショナルスクール、横浜インターナショナルスクール
愛知県	名古屋国際学園、インターナショナル・クリスチャン・アカデミー名古屋
京都府	京都インターナショナルユニバーシティー
大阪府	関西学院大阪インターナショナルスクール
兵庫県	カネディアン・アカデミー、マリストブラザーズインターナショナルスクール
広島県	広島インターナショナルスクール
福岡県	福岡インターナショナルスクール
沖縄県	沖縄クリスチャンスクール・インターナショナル

(注 8) その他、旧制の諸学校の出身者や、小・中・高等学校の教諭の普通免許状を有する者など昭和 23 年文部省告示第 47 号で指定された者です。

(注 9) 高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定について不明な点があれば、文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課認定試験第二係（03 - 5253 - 4111 (代表)）に問い合わせてください。

(注 10) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定で既に一部の科目に合格し、残りの試験科目に相当する科目について、在学している高等学校、高等専門学校、海外において高等学校の課程と同等の課程を有するものとして文部科学大臣が認定した在外教育施設又は文部科学大臣の指定により大学入学資格が付与されている専修学校高等課程で、平成 25 年 3 月 31 日までに修得する見込みの者がこれに該当します。

(注 11-1) 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 25 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

(注 11-2) 個別の入学資格審査による認定を受けたことを証明する書類は、大学入試センター試験出願時に必要なので、必ず大学入試センター試験の出願までに、志望大学に個別の入学資格審査の申請をして交付を受けておいてください。

2 出願期間と出願方法等

(1) 出願期間

平成 24 年 10 月 1 日（月）～10 月 12 日（金）

（10 月 12 日消印有効。10 月 13 日以降に到着したもののうち消印がないものについては、10 月 12 日までに郵便局の窓口差し出されたことが確認できるものに限り受理します。）

(2) 出願方法

① 出願書類の提出方法は次表のとおりです。

② 書類に不備がある場合は、受理できないことがあります。

③ 出願方法について疑問がある場合は、出願期間の前に、できるだけ早く大学入試センター事業第 1 課（➡裏表紙）に問い合わせてください。

区 分	出 願 書 類	提 出 方 法
高等学校*又は中等教育学校を卒業見込みの者 *特別支援学校の高等部を含む。 *高等学校卒業程度認定試験合格（合格見込みを含む。）の資格で出願する場合は、この区分には該当しない。下の「上記以外の者」により直接出願すること。	ア 志願票 *記入後にコピーを取り、原本を提出し、コピーは保管しておくこと。 イ 検定料受付証明書（➡p.21） *志願票にはり付ける。「受付局日附印」が押印されていること。	学校経由出願 左記の出願書類を在学している学校に提出すること。 *通信制課程の場合も在学している高等学校に提出すること。
上記以外の者 *上記学校の卒業者や他の出願資格の者	ア 志願票 *記入後にコピーを取り、原本を提出し、コピーは保管しておくこと。 イ 検定料受付証明書（➡p.21） *志願票にはり付ける。「受付局日附印」が押印されていること。 ウ 出願資格を証明する書類 *封筒から出して、書類のみを志願票と一緒に提出すること。「開封無効」等の表示がある場合でも大学入試センター試験の出願に当たっては、封筒から出すこと。	個人直接出願 左記の出願書類を、この受験案内に添付してある封筒を使用して、必ず「簡易書留郵便」で郵送すること。 *「簡易書留郵便物受領証」は大切に保管しておくこと。

(3) 出願の確認

大学入試センターは出願書類を受理したのち、11月5日（月）までに届くように**確認はがき**（出願受理通知）を送付します（➡p.23）。この確認はがきは、出願の受理及び受験教科等の登録内容を通知するものですので、記載内容に誤りがないかを必ず確認してください。

志願者本人の責めに帰すことができない理由により、出願期間内に**出願できなかった場合**(出願書類を在学する学校に提出又は郵便局の窓口差し出したが、大学入試センターに到着しなかった場合)は、速やかに大学入試センター事業第 1 課(➡裏表紙)まで申し出てください。

3 受験教科事前登録制について

(1) 受験教科・科目等の登録について

大学入試センター試験を受験するに当たっては、受験教科名及び科目数等について、あらかじめ、以下の事項を出願時に申し出て、登録する必要があります。

- ① 受験教科名
- ② 地理歴史、公民及び理科の受験科目数
- ③ 「数学②」及び「外国語」の試験時間における別冊子試験問題の配付希望

これらの登録を正しく行わないと、希望する教科・科目を受験することができませんので、以下に示す注意事項をよく確認した上で、正しく登録してください。

登録した内容については、11月5日（月）までに受け取る「確認はがき」により確認し、万一、志願票への記入誤り等により、登録内容の訂正が必要となった場合は、大学入試センターに訂正を届け出てください（→p.23）。

(2) 受験教科・科目等の登録に当たっての主な注意事項

以下の注意事項は、出願に当たって特に注意が必要な事項を抜粋したものです。詳細については、「6 志願票の記入方法」（→p.16）をよく読んで、志願票に記入してください。

① 受験教科について

ア 大学入試センター試験の出題教科は、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語の6教科です。試験当日は、登録された受験教科のみを受験できます。

なお、試験当日に、登録していない教科を受験しても採点されません。

イ 地理歴史及び公民については、同一の試験時間に実施しますので、出願時には、この2教科を「地理歴史、公民」の1教科として登録します。

ウ 数学については、試験時間を「数学①」と「数学②」のグループに分けて実施しますが、両グループを受験する場合でも、数学1教科として数えます。

なお、数学を受験教科として登録した場合は、「数学①」のみの受験又は「数学②」のみの受験も可能です。

② 地理歴史、公民及び理科の受験科目数について

地理歴史、公民又は理科を受験する場合は、それぞれの試験時間で受験する科目数（1科目又は2科目）を登録する必要があります。

試験当日は、登録した受験科目数にしたがって、「地理歴史、公民」の試験時間は、地理歴史と公民を合わせた10科目の中から、「理科」の試験時間は、理科6科目の中から、それぞれ解答する科目を選択することができます。

③ 「数学②」及び「外国語」の試験時間における別冊子試験問題の配付希望について

数学の出題科目のうち、「数学②」の「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」について、また、外国語の出題科目のうち、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」について、それぞれ受験を考えている場合は、出願時に、別冊子試験問題の配付希望を申し出る必要があります。

なお、別冊子の配付を希望した場合でも、「数学②」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」や「外国語」「英語（筆記）」の問題冊子も併せて配付されますので、これらに掲載された科目を選択解答することもできます。

4 受験特別措置

- (1) 大学入試センター試験の受験に際し、病気・負傷や障害等のために、解答方法、試験室、座席及び所持品等について、次表のような特別の措置を希望する者は平成24年10月12日（金）までに申請してください。大学入試センターは、志願者からの申請内容を審査の上、措置の可否や内容を決定します。

この申請がなければ、各試験場では受験特別措置を行いません。日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を持参しようとする場合も、受験特別措置の申請が必要となりますので、申請し忘れないよう、十分に注意してください。

なお、「座布団」「ひざ掛け」「ティッシュペーパー」「ハンカチ」「目薬」を持参しようとする場合は、受験特別措置の申請は不要です。

受験特別措置の対象となる者や措置の具体的な内容、申請方法等は受験特別措置案内に掲載しています。入手方法については、次ページを参照してください。

受験特別措置の内容等について不明な点がある場合には、できるだけ早く大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に相談してください。

区 分	対 象 と な る 者	措 置 例
① 視覚障害	・点字による教育を受けている者 ・良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者 ・両眼による視野について視能率による損失率が90%以上の者 ・上記以外の視覚障害者	・点字解答・文字解答 ・拡大文字問題冊子の配付 ・拡大鏡等の持参使用 ・窓側の明るい座席を指定 ・照明器具の持参使用又は試験場側での準備
② 聴覚障害	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外の聴覚障害者	・手話通訳士等の配置 ・注意事項等の文書による伝達 ・座席を前列に指定 ・補聴器又は人工内耳の装用 ・リスニングの免除
③ 肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外の肢体不自由者	・チェック解答・代筆解答 ・介助者の配置 ・試験室を1階に設定 ・トイレに近い試験室で受験 ・車椅子、杖の持参使用 ・試験場への乗用車での入構
④ 病弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	・試験室を1階に設定 ・杖の持参使用 ・別室の設定
⑤ 発達障害	・自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため特別な措置を必要とする者	・試験時間の延長（1.3倍） ・チェック解答 ・拡大文字問題冊子の配付 ・注意事項等の文書による伝達
⑥ その他	・①～⑤の区分以外のもので特別な措置を必要とする者	・トイレに近い試験室で受験 ・座席を試験室の出入口に近いところに指定

(2) 出願前申請

希望する措置によっては審査に時間がかかる場合もあるため、受験特別措置については出願前の申請を受け付けます。できるだけ早めに、申請してください。

出願前申請受付期間：8月1日（水）～9月28日（金）まで（9月28日消印有効）

なお、出願前に審査結果の通知を希望する場合は、9月5日（水）（消印有効）までに申請してください。この場合、措置の可否は、9月下旬頃に「出願前申請措置事項通知書」により通知します。

また、この出願前申請を行っただけでは出願をしたことにはなりません。出願する場合には、この手続のほかに、必ず出願期間内（10月1日～10月12日）に志願票等の出願書類を提出してください（→p.11）。詳しいことは「受験特別措置案内」で確認してください。

(3) 「受験特別措置案内」の入手方法

受験特別措置を希望する志願者は、できるだけ早い時期に「受験特別措置案内」を次の①又は②の方法により入手してください（大学等では配付していません。）。申請に必要な申請書等の様式は、「受験特別措置案内」にとじ込んであります。

①大学入試センターのホームページ（→裏表紙）からダウンロードできます。申請書や診断書等の様式をダウンロードしてそのまま使用することができます。

②次のア・イを封筒（表面に「受験特別措置案内請求」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に郵便で請求してください。

ア 氏名、現住所、電話番号、在学（又は出身）学校名を記入した便せん等

イ 返信用封筒（角形2号：縦33.2cm・横24cm、表面に現住所・氏名を記入し、240円分の切手をはる。）

(4) 志望大学との事前相談

障害等の種類・程度によっては、入学を志望する大学の個別学力検査や修学上（入学後の大学生活等）特別な配慮を必要とすることがありますので、入学を志望する大学と早めに連絡を取り、当該大学が定めている期日までに、十分相談してください。

(5) 出願後の不慮の事故等による受験特別措置

出願時に申請する受験特別措置のほか、出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のための受験特別措置があります（→p.34）。

この措置は、申請する理由が出願後に発生したときのみ行うものです。したがって、出願時までに申請すべき内容であった場合には措置しませんので、申請し忘れないよう、十分に注意してください。

5 成績通知

大学入試センターは、出願時の志願者からの希望に基づき、成績通知書を志願者本人の住所に送付します。

(1) 成績通知の内容

「受験した科目名」「試験区分（本・追再試験の別）」「得点（科目別得点）」を成績通知書により通知します。

なお、「国語」については出題分野別得点を、「英語」については、「筆記」と「リスニング」の得点を別に表示します。

また、「地理歴史、公民」又は「理科」の試験時間において2科目を受験した場合は、解答順に「第1解答科目」と「第2解答科目」を区別して表示します。

(2) 成績通知の時期

出願時に成績通知を希望した志願者には、平成25年4月16日（火）以降、4月下旬までに成績通知書を書留郵便で送付します。成績通知書が4月24日（水）までに届かない場合は、大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に電話で問い合わせてください。

なお、成績通知書は再発行できませんので、大切に保管してください。

* 書留郵便は、配達時に不在の場合、郵便局に一定期間保管されます。郵便局が受取方法を記した配達時不在連絡票を郵便受けに入れていきますので、直接、郵便局に問い合わせ受け取ってください。

なお、郵便局での保管期間（おおむね1週間）を過ぎると大学入試センターに返送されてしまいますので注意してください。

(3) 成績通知の申込方法

成績通知を希望する志願者は、出願時に成績通知手数料（800円）を検定料と併せて払い込んでください（→p.21）。

また、成績通知を希望する志願者は、出願時に志願票の「⑩成績通知」欄の「希望する」を○で囲んでください（→p.18）。

(4) 大学入試センター試験終了後の「現住所の変更」

大学入試センター試験終了後に成績通知書を送付する現住所を変更する場合は、平成25年3月25日（月）（必着）までに「成績通知変更届」（→p.26）を必ず使用し、「2 現住所を変更する」を○で囲み、変更後の現住所を記入の上、封筒（表面に「成績通知変更届」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に郵送してください。

6 志願票の記入方法

記入上の注意

- ① 志願票は、必ず志願者本人が黒のボールペンでいねいに記入してください（病気・負傷や障害等のために記入が困難な場合は、保護者等が記入してください。）。
- ② 誤って記入した場合は、二重線を引き、余白部分に、修正内容が明確に分かるように訂正してください。その際、文字がマスからはみ出てかまいません。訂正印は不要です。
- ③ 記入の済んだ志願票は第Ⅰ面・第Ⅱ面ともにコピーを取り、出願の際には原本を提出してください（コピーした志願票は、大切に保管しておいてください。）。

(1) 志願票（第Ⅰ面）各欄への記入

平成25年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 第Ⅰ面

出願期間：平成24年10月1日（月）～10月12日（金）（10月12日消印有効）

※折らずに封筒に入れてください。

① 高等学校等コード （「高等学校等コード表」により記入）	出身学校名	② 受験特別措置 希望する	学校記入欄 ③ 整理番号 （「整理番号」の欄に記入してください。）
2 1 2 3 4 5 6 7		8	9 10 11 12

出願資格 （p.17の「出願資格」欄の記入方法を参照してください。）	④ 課程	⑤ 学科	⑥ 卒業見込・卒業の別
	1 全日制 2 定時制 3 通信制	1 普通科 2 理数科 3 農業科 4 工業科 5 商業科 6 総合学科 7 左記以外の学科	1 卒業見込 2 卒業 ⑦ 卒業した年 S昭和 H平成
	⑧ その他の出願資格	1 外国の学校等 2 在外教育施設 3 専修学校高等課程 4 文部科学大臣の指定した者 5 高等学校卒業程度認定試験・大学入学資格検定 6 その他	

⑨ カタカナ記入（姓と名の間に1マスあけ、濁点及び半濁点は1マスを使用してください。）	⑩ 漢字等氏名（かいてで丁寧に記入してください。姓と名の間に1マスあけてください。）	⑪ 性別 1 男 2 女 57	⑫ 生年月日 S昭和 H平成 58 59 60 61 62 63 64
氏名			

⑬ 電話番号（自宅・下宿・寮）	⑭ 携帯電話（本人）

現住所 （志願者全員が、必ず記入してください。）	⑮ 郵便番号	⑯ カタカナ・数字等記入欄
★現住所の登録は⑮郵便番号、⑯カタカナ・数字等記入欄で行います。	都道府県 市区郡 町村	丁目 番地 アパート・マンション名 号室 様方
★1マスに1文字ずつ記入し、濁点及び半濁点も1マスを使用してください。		
★1行に入らない場合は、区切りのよいところで改行してください。		
★知人宅等に下宿をしている場合は、「〇〇様方」まで必ず記入してください。	漢字等記入	

第Ⅱ面（裏面）も必ず記入してください。

高等学校等コード・出身学校名

51ページの「高等学校等コード表」にしたがって、出身学校のコードを記入してください。

- * 通信制の学校については、その学校の本部のある都道府県の欄に記載されています。
- * 出身学校の学校名が変更となった場合や廃校となった場合は、その学校の所在していた都道府県の「上記以外の高等学校等」のコードを記入してください。
- * 高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定の「出身学校名」は、「高卒認定」と記入してください。

【希望者のみ】受験特別措置

受験特別措置を申請する場合のみ、「希望する」を○で囲んでください。受験特別措置の出願前申請（→p.14）を行った場合も○で囲んでください。

- * 出願期間（10月1日～12日）に受験特別措置を申請する場合は申請書や診断書等の必要書類を必ず志願票に添付して出願してください（出願前申請を行った場合は出願前申請済届（→「受験特別措置案内」p.31）を添付してください。）。

出願資格

- 高等学校又は中等教育学校卒業見込み・卒業者の記入欄
「④課程」「⑤学科」「⑥卒業見込・卒業の別」…それぞれ該当するものを○で囲んでください。
「⑦卒業した年」……………卒業者のみ記入してください。
- 上記以外の出願資格者の記入欄
「⑧その他の出願資格」……………該当する資格を○で囲んでください。

氏名・性別・生年月日

「⑨カタカナ氏名」…姓と名の間に1マスあけ、濁点等は1マスを使用して記入してください。
「⑩漢字等氏名」…できるだけ常用漢字で記入してください（JIS漢字コードの第1・第2水準以外の文字は置き換えられることがあります）。

- * 氏名に小文字が含まれる場合は、大文字に置き換えて記入してください。【「ショウ」→「シヨウ」など】

「⑪性別」

男・女のどちらかを○で囲んでください。

「⑫生年月日」

該当する年号を○で囲み、年月日を記入してください。
年月日が1桁の場合は、その数字の前に「0」を記入してください。

【置き換えられる文字の例】

邊→邊 朗→朗 祐→祐
濱→濱 角→角 桑→桑
廣→廣 臺→臺 遙→遙
島→高 崎→崎 ヲ→オ

電話番号

自宅等の固定電話及び志願者本人の携帯電話の電話番号を記入してください（どちらか一つしかない場合は、片方のみの記入でも構いません）。

現住所

現在、居住している住所を記入してください（住民票に記載された住所である必要はありません）。学校や予備校の住所、私書箱、郵便局留は使用できません。

マンション等に居住している場合は、建物名、部屋番号まで記入してください。

- * 現住所のカタカナに小文字が含まれる場合は、大文字に置き換えて記入してください。【「〇〇チョウ」→「〇〇チヨウ」など】
- * 「日本郵便ホームページ」で公開されている郵便番号データに基づき表示することができる町域（町名から〇丁目を除く部分、及び大字）までを漢字で、それ以降の部分は「⑯カタカナ・数字等」欄に基づきカタカナで登録します。

(2) 志願票（第Ⅱ面）各欄への記入

出B

願

平成25年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 第Ⅱ面

⑯受験教科
受験する・しないにかかわらず、必ず該当する選択肢を1つ選び、その記号を正しく記入してください。

教科名	選択記入欄	
国語	A…受験する X…受験しない	196
地理歴史 公民	A…1科目受験する B…2科目受験する X…受験しない	197
数学	A…受験する X…受験しない	198
理科	A…1科目受験する B…2科目受験する X…受験しない	199
外国語	A…受験する X…受験しない	200

※選択記入欄に正しく記入されていない場合（未記入、複数の記号を記入、選択肢にない文字を記入等）は、その教科は「受験しない」教科として登録します。

●受験教科数の計算について
・選択記入欄に記入した「A」の数と「B」の数を足した合計が、検定料の払込金額を決める上での受験教科数となります。
・例えば、選択記入欄に上から順番に「A、B、X、X、A」と記入した場合、受験教科数は、「A」が2つと「B」が1つで、合計3教科となります。

【希望者のみ】⑱別冊子試験問題配付希望
次の科目の受験を希望する者のみ記入してください。

数学②のうち次の科目
「工業数理基礎」
「簿記・会計」
「情報関係基礎」

外国語のうち次の科目
「ドイツ語」
「フランス語」
「中国語」
「韓国語」

⑲成績通知
【成績通知】の希望の有無に○をしてください。

	希望する	希望しない
希望する	希望する	希望しない

201

202

203

払込金額

	希望する	希望しない
3教科以上	18,800円	18,000円
2教科以下	12,800円	12,000円

【該当者のみ】
「イヤホン不適合措置申請書」はリ付け欄

★リスニングで使用するイヤホンが耳の形に合わず装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」に必要事項を記入し、この欄にはがれないようしっかりとリ付けてください。
(受験案内40ページ参照)

★必ず金融機関の受付窓口で払い込んでください。

★E「検定料受付証明書」に受付局日附印が押されていることを確認してください。

E 検定料受付証明書はリ付け欄

受験教科 (→p.4)

受験教科の登録に当たっては、あらかじめ志望する大学の募集要項等を確認した上で、すべての教科について、それぞれ受験するか、しないかを選択して、該当する記号を選択記入欄に記入してください。

「地理歴史、公民」又は「理科」を受験する場合は、受験科目数（1科目又は2科目）も選択する必要があります。

なお、選択記入欄に記入した「A」の数と「B」の数を足した合計が、検定料の払込金額を決める上での受験教科数となります。

教科	記入方法
国語	・受験する → 「A」と記入 ・受験しない → 「X」と記入
数学	※ 数学を「A」（受験する）として登録した場合は、「数学①」と「数学②」の両方が登録されますが、「数学①」のみ又は「数学②」のみの受験も可能です。
外国語	
地理歴史 公民	・1科目受験する → 「A」と記入 ・2科目受験する → 「B」と記入 ・受験しない → 「X」と記入 ※ 「地理歴史、公民」は10科目、「理科」は6科目のうち何科目を受験するか選択してください。 ※ 「地理歴史、公民」から2科目を選択する場合は、試験当日、同一名称を含む以下の組み合わせを選択することはできません。 「世界史A」と「世界史B」 「日本史A」と「日本史B」 「地理A」と「地理B」 「倫理」と「倫理、政治・経済」 「政治・経済」と「倫理、政治・経済」
理科	

記入欄に正しく記入されていない場合（未記入又は選択肢にない文字を記入等）は、その教科を「受験しない」教科として登録します。

【希望者のみ】別冊子試験問題の配付 (→p.4)

数学及び外国語で、次の科目の受験を希望する場合は、「希望する」を○で囲んでください。

教科（グループ）	配付希望の登録が必要な科目
数学②	「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」
外国語	「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」

なお、別冊子の配付を希望した場合でも、数学②の「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」や外国語の「英語（筆記）」の問題冊子も同時に配付されますので、これらの科目を選択解答することもできます。

成績通知 (→p.15)

成績通知を希望する場合は「1 希望する」を、希望しない場合は「2 希望しない」を○で囲んでください。なお、この欄の記入内容と検定料受付証明書の払込金額に相違がある場合は、検定料受付証明書の払込金額にしたがって、成績通知希望の有無を登録します。

【該当者のみ】イヤホン不適合措置申請書 (→p.40)

リスニングで使用するイヤホンが耳の形に合わず装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」をはり付けてください。

検定料受付証明書 (→p.21)

検定料を払込み済みのE「検定料受付証明書」をはり付けてください。

検定料の払込み金額は、次のとおり「受験教科数」と「成績通知の希望の有無」により異なりますので、正しい金額を払い込んでください。

	成績通知を希望する	成績通知を希望しない
3教科以上受験	18,800円	18,000円
2教科以下受験	12,800円	12,000円

出B

願

受験教科等の登録 < Q & A >

Q1 出願時に地理歴史、公民を「受験しない」として登録しましたが、「1科目受験する」に訂正することはできますか？

A 11月9日（金）まで（消印有効）に届け出れば、受験教科等の登録内容を訂正することができます。

大学入試センターは、出願を受理した志願者に対して、受験教科等の登録内容が記載された「確認はがき」を11月5日（月）までに届くように送付しますので、登録された受験教科等を訂正する必要がある場合は、「確認はがき」到着後、11月9日（金）まで（消印有効）に、大学入試センターに「登録内容訂正届」を送付してください（→p.23）。

なお、この訂正期間を過ぎた場合、登録内容の変更は一切できませんので注意してください。

Q2 試験当日に、受験教科として登録されていない教科を受験することができますか？

A 受験できません。
万一、試験当日に登録していない教科を受験しても、その教科は採点されません。

Q3 「受験する」として登録されている教科の受験を、試験当日になって取りやめることはできますか？

A 試験時間単位で受験を取りやめることができます。
例えば、数学については、試験時間を「数学①」と「数学②」のグループに分けていますが、どちらか片方のグループだけを受験しても構いません。
受験を取りやめた場合、その試験時間は受験しなかったものとして取り扱いますが、取りやめても0点として採点されることはありません。

Q4 地理歴史、公民を「2科目受験する」として登録しましたが、試験当日に1科目のみを受験することはできますか？

A できません。
「地理歴史、公民」又は「理科」の試験時間を「2科目受験する」と登録した場合、2科目分の解答時間を合わせて1つの試験時間としているので、試験当日に、1科目のみを受験する（1科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。「2科目受験する」と登録した場合、必ず2科目分を採点（前半の60分を第1解答科目、後半の60分を第2解答科目として採点）します。
同様に、「1科目受験する」と登録した場合、試験当日に「2科目受験する」に変更することもできません。

Q5 地理歴史、公民又は理科を「2科目受験する」として登録しましたが、試験開始時刻に遅刻した場合、後半の第2解答科目だけでも受験することはできますか？

A できません。
遅刻者の試験室への入室限度である9:50までに入室していないと、仮に、後半の第2解答科目の開始時間までに余裕があったとしても、受験することはできません。
また、前半の第1解答科目のみを受験して、第2解答科目を受験せずに途中退室することもできません。

7 検定料及び成績通知手数料の払込方法

(1) 検定料等の払込金額

払込金額は、受験教科数、成績通知（手数料 800 円）の希望の有無により、次の4種類があります。

試験当日に受験する教科と成績通知の希望の有無をあらかじめ決定した上で、正しい金額を払い込んでください。

区 分	成績通知を希望する場合	成績通知を希望しない場合
3 教科以上を受験する場合	18,800 円	18,000 円
2 教科以下を受験する場合	12,800 円	12,000 円

なお、受験教科数を数える際に、地理歴史と公民については、この2教科を合わせて1教科として数えますので注意してください。

例えば、国語、地理歴史、公民の3教科を受験する場合でも、出願時においては、地理歴史と公民を合わせて1教科として数えますので、払い込む検定料は、「2教科以下を受験する場合」の「12,800 円」又は「12,000 円」のいずれかとなります。

(2) 払込期間

平成24年9月3日（月）～10月12日（金）（出願期間は10月1日～10月12日）

(3) 払込場所

「ゆうちょ銀行・郵便局の受付窓口」又は「払込書裏面の取扱銀行の受付窓口」
必ず受付窓口で払い込んでください。ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。

(4) 「払込書」の裏面記載の銀行の本・支店間及びゆうちょ銀行・郵便局を利用した場合の振込手数料は、大学入試センターが負担します。それ以外の金融機関（信用金庫・農協など）を利用した場合の振込手数料は、志願者本人の負担となります。

(5) 払込方法（下記の払込書イメージ図を参照）

- この受験案内に添付されている4種類の払込書の中から、受験教科数や成績通知希望の有無に応じた金額の払込書を選び、その払込書を使用してください。
- 「払込書」は5つの部分からなっており、それぞれの「志願者」欄には、**A～E**の記号が印刷されています。**A～E**の各欄には、※印の指示にしたがって志願者本人の住所、氏名等を記入してください。

〔払込書イメージ図〕

志願票にはり付けるのはこの部分です。

※	A	※	B	※	C	※	D	※	E
---	----------	---	----------	---	----------	---	----------	---	----------

- ③ 銀行で払い込む場合は、振込先欄に銀行名、支店名、口座番号も記入してください。
- ④ 払込み後は、日附印の押された **E**「検定料受付証明書」を志願票にはり付けてください。
D「振替払込請求書兼受領証」は本人の控えとして大切に保管してください。

(6) 出願に際しての注意事項

- ① 志願票（第Ⅱ面）のはり付け欄に検定料等の払込済の **E**「検定料受付証明書」をはり付けた後に、志願票の記入誤り等に気付き、やむを得ず新しい志願票に記入し直す場合でも、検定料は二重に払い込まないでください。その場合は、払込済の **E**「検定料受付証明書」を志願票ごと切り取って、新しい志願票にはり付けてください。
- ② **E**「検定料受付証明書」を紛失した場合は、代わりに **D**「振替払込請求書兼受領証」を志願票にはり付けてください。
- ③ 払込済の **E**「検定料受付証明書」が志願票にはり付けられていない場合は、出願を受理しません。
- ④ 成績通知について、志願票にはり付けてある **E**「検定料受付証明書」の払込金額と志願票の記入に相違があった場合は、**E**「検定料受付証明書」の払込金額に従って、出願を受理します。

(7) 検定料等の返還請求

- ① 検定料等の返還請求ができるのは、以下の場合のみです。それ以外の場合は、いかなる理由があっても払込済の検定料及び成績通知手数料は返還しません。

ア 検定料等を払い込んだが大学入試センターに出願しなかった（出願書類等を大学入試センターに提出しなかった）又は出願が受理されなかった場合

イ 検定料等を二重に払い込んだ場合

② 返還請求の方法

大学入試センターのホームページ(→裏表紙)から「検定料等返還請求書」をダウンロードして必要事項を記入し、**E**「検定料受付証明書」を添付して大学入試センター財務課へ郵送してください。返還時期は、平成 25 年 2 月中旬以降を予定しています。



1 確認はがき(出願受理通知)～登録内容の確認

「確認はがき」は、出願が受理されたことを通知するとともに、登録された志願票の記入事項のうち、特に重要な事項を表示したものです。受領後はただちに、登録内容の表示に誤りがないかを確認してください。

(1) 確認はがきの送付

大学入試センターは出願書類を受理したのち、確認はがきを 11 月 5 日(月)までに届くように送付します(高等学校等(通信制課程を除く)を卒業見込みの者は在学している学校に送付します)。

確認はがきが 11 月 5 日(月)までに届かない場合は、必ず大学入試センター事業第 1 課(→裏表紙)に電話で問い合わせてください。

(2) 登録内容の確認

受領後は、保管してある志願票のコピーと照らし合わせて、出願時の登録内容と確認はがきの表示内容に誤りがないかをよく確認してください。

(3) 登録内容の訂正方法

確認はがきの表示に誤りがある場合や受験教科等をやむを得ず訂正する場合は、次の手順にしたがって、訂正内容を大学入試センターに届け出てください。

- ① 25 ページの「登録内容訂正届」をコピーして、訂正が必要な項目について、24 ページの(4)の表中「訂正に当たっての注意点」をよく読んだ上で、訂正後の内容を記入してください(記入の済んだ「登録内容訂正届」はコピーを取り、大切に保管しておいてください。)

* 受験教科の訂正に伴い受験教科数が「2 教科以下→3 教科以上」又は「3 教科以上→2 教科以下」に変更となる場合は、再度、検定料を払い込む必要があります(→p.21)。

- ② 次の必要書類を、次表の送付方法にしたがって、11 月 9 日(金)まで(消印有効)に、大学入試センターに送付してください

ア 「登録内容訂正届」(→p.25)

イ 「確認はがきのコピー」

ウ 検定料を再度払い込んだ場合は、「**E** 検定料受付証明書」(→p.21) 及び「検定料等返還請求書」(→p.22)

区 分	送 付 方 法
高等学校を卒業見込みの者など学校を経由して出願した者(ただし、下欄イの者を除く。)	必要書類を在学している学校に提出すること(学校単位で取りまとめて大学入試センターに簡易書留郵便で郵送。)
ア この受験案内に添付された封筒で個人出願した者 イ 高等学校等の通信制課程を卒業見込みの者	必要書類を封筒に入れて、大学入試センター事業第 1 課(→裏表紙)に簡易書留郵便で郵送すること(封筒の表面に「登録内容訂正」と朱書きすること。)

- ③ 大学入試センターは、届出内容にしたがって登録内容を訂正します。訂正された内容は、12 月 13 日(木)までに到着する受験票(→p.26)で再度確認してください(確認はがきの再送付は行いません。)

- ④ 上記②の必要書類に不備(必要書類の不足、「登録内容訂正届」への誤記入等)がある場合や 11 月 10 日以降の消印の場合は、訂正は一切受け付けません。

出C
願
後

【確認はがきの表示例】

【表示はかきの表示例】

高等学校等 コード	13440G 西多摩		
フリガナ 氏名	フリガナ 駒場 太郎		
生年月日	平成06年10月02日	性	別 男
連絡先等	042-395-999× 090-9999-999× 〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関3-2-2		
成績通知	成績通知 あり		
受験特別措置	受験特別措置 希望しない		
イヤホン不適合措置	イヤホン不適合措置 なし		
登録教科	国語	受験する	
	地理歴史、公民	1科目受験する	
	数学	受験しない	
	理科	2科目受験する	
別冊子試験問題	外国語	受験する	
	数学	なし	外国語 あり

表示項目	表示内容についての説明	訂正に当たっての注意点
① 氏 名 生 年 月 日 性 別	コンピュータで登録できない文字が含まれる場合は、その文字が置き換えられる(→p.17)か、カタカナ部分のみが表示されることがありますが、登録の誤りではありません。	確認はがきの表示内容が誤っている場合は、訂正を受け付けます。 出願後に氏名や住所を変更した場合は、「登録内容訂正届」ではなく、「氏名等変更届」(→p.32)を提出してください。
② 連 絡 先 等	住所の後半部分(マンション名や「字(あざ)」以降の住所など)はカタカナで表示されますが、登録の誤りではありません。	
③ 成 績 通 知	成績通知手数料(800 円)を払い込んだ場合は、「あり」と表示されます。	確認はがきの表示内容が誤っている場合は、訂正を受け付けます。 なお、成績通知の取りやめを希望する場合は、「登録内容訂正届」ではなく、受験票到着後に「成績通知変更届」(→p.26)を提出してください。
④ 受 験 特 別 措 置	受験特別措置を申請した場合は、「希望する」と表示されます。	確認はがきの表示内容が誤っている場合は、訂正を受け付けます。
⑤ イ ヤ ホ ン 不 適 合 措 置	リスニングのイヤホン不適合措置を申請した場合は、「あり」と表示されます。	出願時に申し出た内容どおりに表示されている場合は、新たな変更はできません。
⑥ 登 録 教 科	各教科について「受験する」又は「受験しない」と表示されます。 地理歴史、公民又は理科を受験する場合は、「1 科目受験する」又は「2 科目受験する」と表示されます。	すべての教科を「受験しない」とする訂正はできません。 受験教科の訂正に伴い受験教科数が「2 教科以下→3 教科以上」又は「3 教科以上→2 教科以下」に変更となる場合は、再度、検定料を払い込む必要があります(→p.21)。この場合は、すでに払い込んだ検定料は返還請求することができます。 検定料を再度払い込んだ場合は、「登録内容訂正届」とともに、次のものを大学入試センターに送付してください。 ア 再度払い込んだ際の「 E 検定料受付証明書」 イ 「検定料等返還請求書」(→p.22) なお、アの「 E 検定料受付証明書」が同封されていない場合は、訂正を受け付けられません。
⑦ 別 冊 子 試 験 問 題	「数学②」「外国語」で別冊子試験問題の配付を希望した場合は、「あり」と表示されます。	

11月9日(金) 消印有効

大学入試センター記入欄									
①					②		③		④

平成 25 年度大学入試センター試験 登録内容訂正届

【①必須記入】 志願者本人の氏名を記入してください

氏 名	カタカナ 漢 字	
-----	-------------	--

【②訂正項目のみ記入】次の A～C のうち、訂正する項目の「訂正記入欄」に正しく記入・☑チェックしてください

A 高等学校等コード, 氏名, 連絡先等

項 目		訂正記入欄											
高等学校等コード													
氏 名	カタカナ												
	漢 字												
生 年 月 日		☐ 昭和 ☐ 平成			年			月			日	性 別	☐ 男 ☐ 女
連絡先等	住 所	郵便番号					-						
	※ 全てカタカナで記入してください。												
	電話番号	自宅・下宿・寮	-	-	携帯電話	-	-						

B 受験特別措置, イヤホン不適合措置

項 目	訂正記入欄	
成 績 通 知	☐ あり	☐ なし
受 験 特 別 措 置	☐ 希望する	☐ 希望しない
イヤホン不適合措置	☐ あり	☐ なし

C 登録教科, 別冊子試験問題

項 目		訂正記入欄		
登録教科	国 語	☐ 受験する		☐ 受験しない
	地理歴史, 公民	☐ 1 科目受験する	☐ 2 科目受験する	☐ 受験しない
	数 学	☐ 受験する		☐ 受験しない
	理 科	☐ 1 科目受験する	☐ 2 科目受験する	☐ 受験しない
	外 国 語	☐ 受験する		☐ 受験しない
別 冊 子 試験問題	数 学 ②	☐ あり		☐ なし
	外 国 語	☐ あり		☐ なし

届け出の際は、このページをコピーして使用してください。

出C
願
後

出C
願
後

受験票等が12月13日(木)までに届かない場合は、必ず大学入試センター事業第1課に再発行を申請してください(→p.31)。

(2) 受験票・写真票・成績請求票・成績通知変更届の受領後の取扱い

①受験票

②写直票

④成績通知變更届

③成績請求票

ア 受験票には、試験場に関する事項のほか、受験教科に関する次表の事項を表示しますので、出願時の登録内容と受験票の表示内容に誤りがないかをよく確認してください。

イ 万一、記載事項に誤りがある場合は、受験票を再発行する必要がありますので、直ちに大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に電話で問い合わせてください。

ウ 受験票には写真をはり付け、大学入試センター試験当日、必ず持参してください。

また、受験票は、各大学の個別学力検査等及び入学手続の際にも必要となりますので、試験終了後も大切に保管してください。

写真票には受験票と同一の写真をはり付け、大学入試センター試験当日、必ず持参してください。写真票は、最初に受験する時間に試験室内で監督者が回収します。

成績請求票は、大学入試センター試験に参加する大学に出願する際、当該大学の出願書類にはり付けて提出するもので、下表のとおり、使用区分別に7種類のものがあります。成績請求票を使用する際は、必ず各大学の募集要項等により確認してください。

(注) 1 国公立大学の推薦入試は、大学入試センター試験を課すかどうかにかかわらず、1つの大学・学部にし
 しか出願できません。

(注 2) 国公立大学前・後期日程及び公立大学中期日程は、それぞれ 1 つの大学・学部にはしか出願できません。

大学入試センター試験終了後に、成績通知希望を取りやめる場合又は大学入試センターに登録されている現住所（成績通知書の送付先住所となります。）を変更する場合（例えば、下宿から実家に引越など）は、この成績通知変更届により届け出てください（➡p.30）。

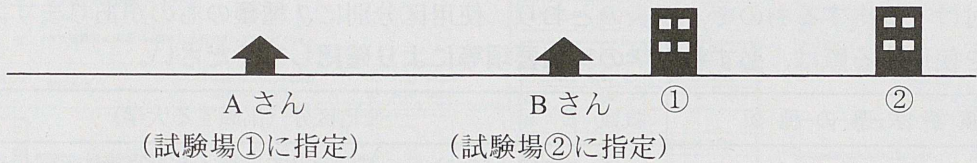
出 C
願
後

3 試験場の指定

- (1) 各志願者の試験場は、原則として都道府県を単位とする次ページの「試験地区区分表」に基づき設定した試験場の中から、大学入試センターが志願者数の分布や使用施設の収容数等を考慮し、指定します。指定された試験場はいかなる理由があっても変更できません。
- (2) 大学入試センターが指定する試験場は、次表のとおり出願資格によって異なります。

出 願 資 格	指定する試験場	備 考
高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を平成 25 年 3 月に卒業見込みの者 *ただし、下欄②を除く。	出願時に在学している学校が所在する試験地区内の試験場	「試験地区」は、原則として都道府県を単位とします。 ただし、北海道、岩手県、埼玉県、神奈川県、兵庫県、島根県、鹿児島県、沖縄県については、次ページの「試験地区区分表」で定めるとおりとします。
① 上欄以外の者 ② 高等学校の通信制課程を平成 25 年 3 月に卒業見込みの者	志願票に記入された現住所の試験地区内の試験場	

- (3) 試験場は、必ずしも各志願者の現住所の最寄りの試験場が指定されるとは限りません。例えば、下の図のような場合、志願者 B さんが最寄りの試験場①ではなく、少し遠い試験場②に指定されることがあります。試験場①でも遠い志願者 A さんが、更に遠くの試験場②に指定されないようにするために、このようなことが起こります。



- (4) 原則として、同じ高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校の卒業見込者は同じ試験場に指定されますが、試験場の設備等の関係上男子と女子がそれぞれ別の試験場に指定される場合があります。
- また、大学入試センター試験では、「地理歴史、公民」及び「理科」の試験時間に受験する科目数の組合せパターンにより、あらかじめ試験室を分けますので、試験場におけるそれぞれの試験室の収容人数によっては同じ学校の志願者が別々の試験場に指定されることがあります。
- なお、重度の障害等で受験特別措置を申請した志願者についても、同じ学校の志願者とは別の試験場に指定されることがあります。
- (5) 試験場を指定する際に考慮される志願者数の分布等は毎年変化しますので、特定の住所や学校の志願者が、毎年同じ試験場に指定されるとは限りません。例えば、ある学校の志願者が昨年度まで継続して A 試験場に指定されていたとしても、今年度は B 試験場に指定されるということがあります。
- (6) 出願後の現住所変更による試験場の変更はできません。

- (7) 各志願者の試験場は、受験票に記載して通知します。指定された試験場以外では、いかなる理由があっても受験はできません。

(8) 試験地区区分表（試験地区名）

北海道石狩振興局地区	埼玉県 〔草加市、蕨市、さいたま市の一部（卒業者等）は東京都へ〕	島根県 （鹿足郡は山口県へ）
〃 空知総合振興局地区		岡山県
〃 上川総合振興局・宗谷総合振興局・留萌振興局地区	千葉県	広島県
〃 後志総合振興局地区	東京都 〔埼玉県の一部、神奈川県の一部を含む。〕	山口県 （島根県の一部を含む。）
〃 檜山振興局・渡島総合振興局地区	神奈川県 〔横浜市鶴見区・青葉区・都筑区、川崎市は東京都へ〕	徳島県
〃 胆振総合振興局・日高振興局地区		香川県
〃 十勝総合振興局地区	新潟県	愛媛県
〃 根室振興局・釧路総合振興局地区	富山県	高知県
〃 オホーツク総合振興局地区	石川県	福岡県
青森県 （岩手県の一部を含む。）	福井県	佐賀県
岩手県 〔久慈市、九戸郡洋野町・野田村は青森県へ〕	山梨県	長崎県
宮城県	長野県	熊本県
秋田県	岐阜県	大分県
山形県	静岡県	宮崎県
福島県	愛知県	鹿児島県 〔大島郡和泊町・知名町・与論町は沖縄県那覇地区へ〕
茨城県	三重県	沖縄県那覇地区 〔那覇市、うるま市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、南城市、国頭郡、中頭郡、島尻郡（鹿児島県の一部を含む。）〕
栃木県	滋賀県	沖縄県宮古地区 （宮古島市、宮古郡多良間村）
群馬県	京都府	沖縄県石垣地区 （石垣市、八重山郡）
	大阪府	
	兵庫県 （美方郡新温泉町は鳥取県へ）	
	奈良県	
	和歌山県	
	鳥取県 （兵庫県の一部を含む。）	

4 出願後の各種手続

(1) 氏名、現住所、電話番号の変更

次表のとおり、届出内容と時期によって届出に必要な書類が異なりますので、正しい書類に記入した上で、封筒に入れて郵便で大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に届け出てください（封筒の表面に、必ず「〇〇変更届」と朱書すること。）。

届出内容	届出の時期	必要な書類
①氏名の変更	出願後から受験票到着前まで	氏名等変更届（→p.32）
	受験票到着後	受験票再発行等申請書（→p.33） （申請方法は、31 ページに記載しています。）
②現住所・電話番号の変更（→注）	出願後から大学入試センター試験前日まで	氏名等変更届（→p.32）
	大学入試センター試験終了後 （成績通知を希望する者のみ。）	成績通知変更届 （申請方法は、(2)に記載しています。）

（注）現住所の変更については、次の点に注意してください。

- ・市町村合併等による住所表記の変更の場合は、届出の必要はありません。
- ・出願後に、現住所を変更しても、試験場は変更できません（→p.28）。
- ・成績通知を希望しない者については、大学入試センター試験終了後に現住所を変更しても、届出の必要はありません。

(2) 成績通知の取りやめ及び成績通知書の送付先住所の変更

大学入試センター試験終了後に、成績通知希望を取りやめたい場合及び志願票に記載した現住所（成績通知書の送付先住所となります。）を変更する場合は、成績通知変更届（→p.26）に必要事項を記入した上で封筒に入れて、郵便で平成 25 年 3 月 25 日（月）（必着）までに大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に届け出てください（封筒の表面に「成績通知変更届」と朱書すること。）。

なお、成績通知の希望を取りやめた場合であっても、成績通知手数料は返還しません。

また、試験の前日（平成 25 年 1 月 18 日（金））までの現住所変更は、「氏名等変更届」により届け出てください（→p.32）。

(3) 受験票等の再発行、成績請求票の追加発行、過年度成績請求票の発行

これらの発行を希望する場合は、下表の①～③に従い、必要書類を封筒に入れて、郵便で大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に申請してください（封筒の表面に「受験票再発行等申請」と朱書すること。）。

なお、受験票については、平成 25 年 1 月 16 日（水）～1 月 27 日（日）の間は、再発行業務は行いません。この期間に申請があったものについては、1 月 28 日（月）から志願者本人あてに送付します。

届出内容	届出上の注意事項	必要な書類
① 受験票・写真票・成績請求票・成績通知変更届の再発行 (平成 25 年 4 月 26 日(金)必着)	次のア～オに該当する場合は、 受験票、写真票、成績請求票、成績通知変更届 の全部又は一部を種別ごとに再発行します。 ア 受験票等が、12 月 13 日（木）までに届かない場合（不着） イ 氏名に変更があった場合 ウ 記載内容に誤りがあった場合 エ 汚損又は破損した場合 オ 紛失した場合 * 再発行した受験票等は、当初発行したものと用紙の色が異なります。 * 「 <u>現住所・電話番号の変更・誤り</u> 」の場合は、再発行申請の必要はありません。 <u>現住所変更の届出をしてください（→p.30）</u> 。 受験票等は、再発行を受けた種別のみ当初発行のものが無効になります。無効となったものは使用しないでください。 ただし、「 国公立 AO 入試用成績請求票 」「 私立大学・公私立短期大学用成績請求票 」は、再発行しても当初発行のものは無効とはなりません。	ア 受験票再発行等申請書 （33 ページをコピーしたものに必要事項を記入する。） * <u>大学入試センター試験終了後に受験票を再発行申請する場合は、写真欄に写真 1 枚をはり付け、必ず署名すること。</u> イ 返信用封筒 （長形 3 号：縦 23.5cm・横 12cm、表面に現住所・氏名を記入し、650 円分の切手（簡易書留郵便・速達料金を含む。）をはる。） * <u>受験票等が、12 月 13 日(木)までに届かない場合（不着）の再発行申請は、返信用封筒は必要ありません。</u> ウ 当初発行の受験票・写真票・成績請求票・成績通知変更届 * <u>申請理由が汚損、破損、記載内容の誤り又は氏名の変更の場合のみ同封すること。</u>
② 国公立 AO 入試用及び私立大学・公私立短期大学用成績請求票の追加発行 (平成 25 年 4 月 26 日(金)必着)	「 国公立 AO 入試用成績請求票 」「 私立大学・公私立短期大学用成績請求票 」を当初発行枚数を超えて必要とする場合は、必要な種別を追加発行します。	ア 受験票再発行等申請書 （33 ページをコピーしたものに必要事項を記入する。） イ 返信用封筒 （長形 3 号：縦 23.5cm・横 12cm、表面に現住所・氏名を記入し、650 円分の切手（簡易書留郵便・速達料金を含む。）をはる。）
③ 過年度成績請求票の発行	大学入試センター試験の過年度（平成 22 年度から平成 24 年度）の成績を利用する大学に志願する者は、当該大学に出願する際に大学入試センターが発行する「 過年度成績請求票 」を提出する必要があります。	

届け出の際は、このページをコピーして使用してください。

出
願
後

大学入試センター試験 氏名等変更届

① すべての項目に記入してください

フリガナ		生 年 月 日	年	月	日
氏 名		□昭和 □平成			
郵便番号					
現住所					
電 話 番 号		※ 氏名・住所・電話番号の変更を届け出る場合は変更前の氏名・住所・電話番号を記入してください。			
高等学校等コード		学 校 名			
		※ 高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校以外の出身者は出願資格を記入してください。			

② 受験票到着後はこちらも記入してください

試験場コード	受験番号

③ 変更する項目のみ記入してください

○氏名の変更

フリガナ	
新氏名	

※ 受験票到着後に氏名を変更した場合は、この変更届は使用せず、受験票等の再発行手続きを行ってください (→p.31)。

○住所の変更

新郵便番号	
新住所	(フリガナ)
	(フリガナ)

○電話番号の変更 (変更のある電話番号のみ記入してください)

新電話番号 (自宅・下宿・寮)
新電話番号 (携帯電話)

大学入試センター試験 受験票再発行等申請書

① すべての項目に記入してください

フリガナ		生 年 月 日	年	月	日
氏 名		□昭和 □平成			
郵便番号					
現住所					
連 絡 先 電 話 番 号					
高等学校等コード		学 校 名 ※			
		※ 高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校以外の出身者は出願資格を記入してください。			

② A～Cのうち、必要事項に☑チェック・記入をしてください

A 再発行

請求理由	☐ 不着	☐ 紛失	☐ 汚損・破損	※ 「不着」「紛失」以外の理由の場合は、所持している受験票・写真票・成績請求票を同封してください。	
	☐ 記載内容の誤り	誤		→	正
	☐ 氏名の変更	フリガナ		→	フリガナ
	☐ その他	理由			

発行種別

☐ 受験票	写真
☐ 写真票 (試験終了後は、再発行不要です。)	
☐ 成績請求票 国公立推薦入試用	
☐ 成績請求票 国公立A O入試用	
☐ 成績請求票 国公立前期日程用	
☐ 成績請求票 国公立後期日程用	
☐ 成績請求票 公立大学中期日程用	
☐ 成績請求票 国公立第2次募集用	
☐ 成績請求票 私立大学・公私立短期大学用	
☐ 成績通知変更届	

写 真

写再試験と行終署を了名申後が請に必ず受要る験で場票す合のは

4 cm × 3 cm

写真の裏に氏名を記入し、あらかじめしっかりとっておいってください。

署名欄

B 成績請求票の追加発行

発行種別と枚数	☐ 国公立A O入試用 枚	☐ 私立大学・公私立短期大学用 枚
---------	---	---

C 過年度成績請求票の発行

センター試験年度	☐ 22年度	☐ 23年度	☐ 24年度
発行種別	☐ 国公立推薦入試用	☐ 国公立A O入試用	☐ 国公立前期日程用
	☐ 国公立後期日程用	☐ 公立大学中期日程用	☐ 国公立第2次募集用
	☐ 私立大学・公私立短期大学用		

申請の際は、このページをコピーして使用してください。

出
願
後

5 出願後の不慮の事故等による受験特別措置

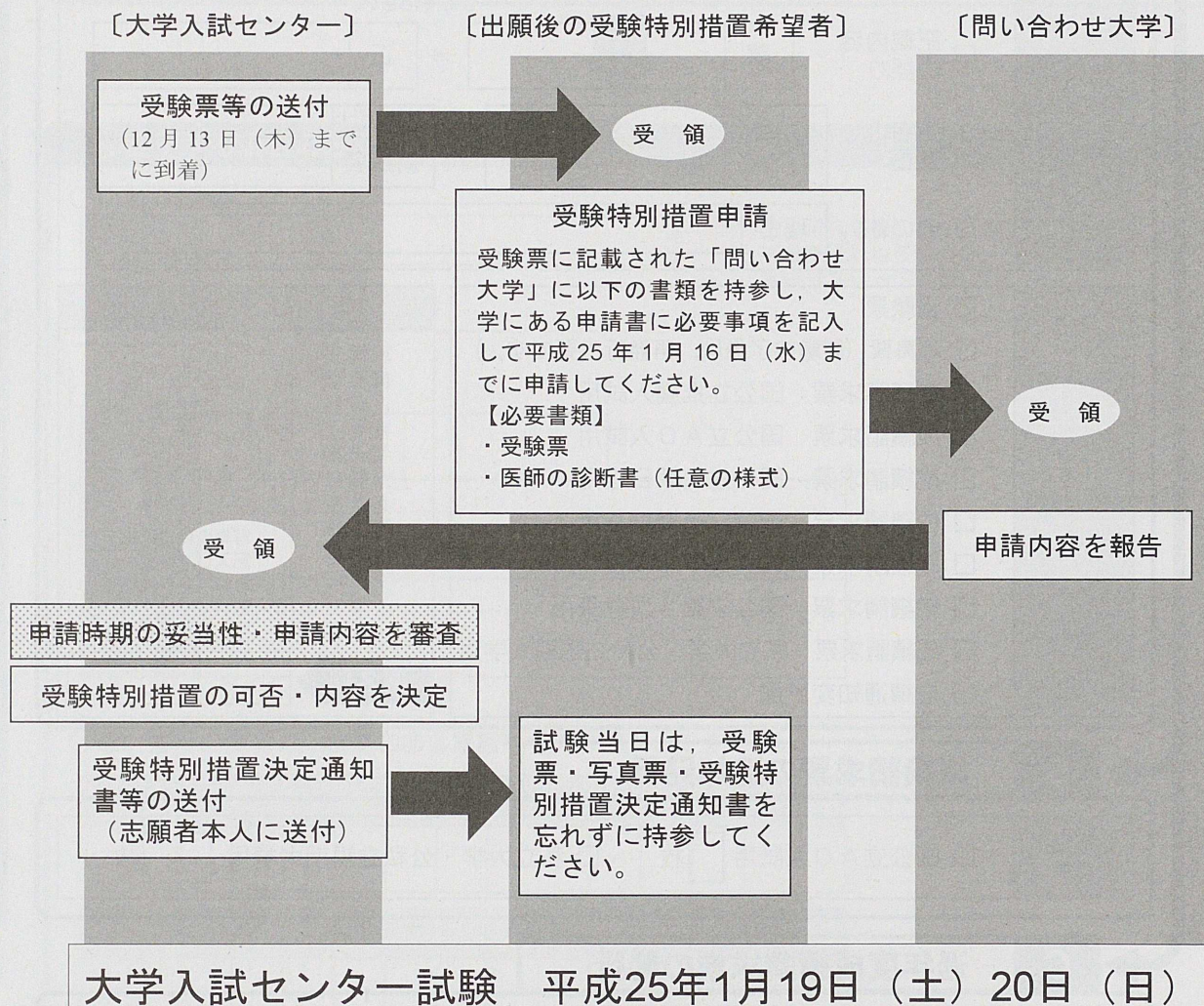
- (1) 大学入試センター試験の出願後に不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため受験特別措置を希望する者には、申請に基づき大学入試センターで審査の上、「受験特別措置案内」に準じた受験特別措置を決定します。

ただし、この措置は、出願時までに申請すべき内容であった場合には措置しませんので、申請し忘れないよう、十分に注意してください。

また、申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する措置が行えないこともあります。

- (2) 不慮の事故等のため受験特別措置を希望する場合は、受験票の「問い合わせ大学」欄に記載された大学に、志願者本人又は代理人がまず電話連絡した上で、平成25年1月16日（水）までに「受験票」及び「医師の診断書（任意の様式）」を持参し、申請してください。大学入試センターでは、「問い合わせ大学」から回付された書類を審査して、措置を決定し、志願者に通知します。

なお、十分な審査を行うため、障害の程度や希望する措置によっては、大学入試センターから、「医師の診断書（任意の様式）」以外の書類等の提出を求めることがあります。



D リスニング

1 リスニングの概要

- (1) 実施教科・科目

リスニングは外国語「英語」の一領域として実施します。外国語において「英語」を選択する受験者は、原則として、筆記とリスニングの双方を受験してください。

なお、「英語」以外の外国語の筆記を受験した場合、リスニングを受験することはできないので注意してください。

- (2) 試験・解答時間

リスニングでは、試験時間60分の中で、解答開始前にICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行った後、30分間で解答します。

なお、筆記とリスニングの間には、休憩時間が設けられています。

- (3) リスニングにおける受験特別措置

病気・負傷や障害等のために、リスニングにおいて特別の措置を希望する者は、受験特別措置を申請してください（→p.13）。

- (4) イヤホン不適合

リスニングで使用するイヤホンが耳の形に合わず装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、イヤホン不適合措置を申請してください（→p.40）。受験特別措置とは申請方法が異なるので注意してください。

2 リスニング受験上の注意

- (1) リスニングは、遅刻者の試験室への入室限度の取扱いが他の試験時間とは異なります。試験開始時刻（17:10）までに入室していない場合は受験することができないので十分注意してください。

- (2) リスニングは、受験者が個々に音声を聞き取りながら解答する試験です。他の受験者の聞き取りに支障をきたす不必要な音をたてることのないよう注意してください。

- (3) 解答時間中の質問は、一切受け付けません。

- (4) ICプレーヤーのボタンを長く押し続けてもランプが光らなかったり、音声流れなかったりした場合や、音声停止したりして聞き取れなくなった場合、問題冊子の乱丁、落丁等で解答に支障がある場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げて、監督者に知らせてください。

なお、試験が終わってから、音声の不具合を申し出ることはできません。

3 リスニングの進行

(1) リスニングの進行の概要は、次ページのとおりで。

- ① 17時10分までに入室していなければ、リスニングは受験できません。
- ② 各受験者に、問題冊子と解答用紙のほか、「IC プレーヤーとイヤホン」「音声メモリー」を配付します。音声は「確認音声」と「問題音声」とに分かれています。
- ③ 解答用紙裏面の指示（→p.38）に従い、IC プレーヤーの操作準備を、受験者が各自で行います。
- ④ 監督者の指示により、IC プレーヤーの確認ボタンを、作動中ランプが赤く光るまで長く押してから、音量つまみを回して音量を調節しながら確認音声を聞いて、IC プレーヤーが正常に動くことを確認します。
- ⑤ 監督者の「解答はじめ」の指示により、IC プレーヤーの再生ボタンを、作動中ランプが赤く光るまで長く押し、問題音声を再生して解答を開始します。
- ⑥ 問題音声は設問ごとに2回流れます。1回目の音声と2回目の音声の流れた後には、それぞれ問題冊子を読んだり、解答するために音声の流れない時間があります。
- ⑦ 解答は設問ごとに解答用紙にマークします。問題冊子に記入しておいて、**解答時間の途中や最後にまとめて解答用紙にマークしてはいけません**（まとめてマークする時間は用意されていません。）。
なお、問題文と選択肢は、すべて問題冊子に印刷されています。

(2) 試験終了後のIC プレーヤー等の取扱い

IC プレーヤー及び音声メモリーは、試験終了後回収します。ただし、問題冊子、イヤホンは持ち帰ってください。なお、問題音声は、試験終了後に大学入試センターのホームページ（→裏表紙）からダウンロードすることができます。

英語筆記試験

16:30 英語筆記試験終了

この休憩時間中に

- 携帯電話や時計など音の出る機器のアラーム設定を解除する。
- 携帯電話や音の出る機器の電源を切る。

17:05 受験者入室終了

17:10 試験開始（*この時刻までに必ず入室）

- 解答用紙に、受験番号・氏名・試験場コードを記入・マークする。
- 解答用紙裏面の指示に従い、IC プレーヤーの操作準備を行う。

確認はじめ
(監督者指示)

確認音声
(約2分間)

- 確認音声（試験問題ではない）を聞いて、IC プレーヤーが正常に動くことを確認し、音量を調節します。

*IC プレーヤーに不具合があった場合は、ここで新しいものに交換し、再度、音声確認を行う。

解答はじめ
(監督者指示)

問題音声
(約30分間)

- 問題音声の進行に従って、問題を解答します。
- 必ず、設問ごとに解答用紙にマークします。問題冊子に記入しておいて、解答時間の途中や最後にまとめて解答用紙にマークしてはいけません。

解答やめ
(監督者指示)

18:10 試験終了

- 答案回収
- IC プレーヤー・音声メモリー回収

受験者退室

【IC プレーヤーの操作】

1 監督者の指示で「電源ボタン」を「電源ランプ」が緑に光るまで長く押し続ける。

2 監督者の指示でイヤホンを耳につけ、「確認ボタン」を、「作動中ランプ」が赤く光るまで長く押してから、音量つまみを回して音量を調節しながら音声がかえることを確認する。

音声中の指示でいったんイヤホンを耳から外す。

3 監督者の解答開始の指示後、イヤホンを耳につけ、「再生ボタン」を、「作動中ランプ」が赤く光って音声がかえるまで長く押し続ける。

*音声に不具合があれば、ためらわずに、黙って手を高く挙げる。
(→p.41)

音声中の指示でイヤホンを耳から外す。

4 IC プレーヤーの操作

(1) IC プレーヤーの操作準備

IC プレーヤーの操作準備は、解答用紙裏面の表示（下図）に従い、①～⑤を受験者が各自で行います。⑥～⑧は、それぞれ監督者の指示があるまで行わないでください。

①～⑤を各自で行ってください。わからないことがあったら、手を高く挙げて知らせてください。⑥～⑧は指示があるまで行わないでください。

<IC プレーヤーの準備方法>

① IC プレーヤー、イヤホンを袋から取り出し、イヤホンのコネクタをしっかりと差し込み、奥までしっかりと差し込み、奥の矢印の面を裏にして、奥に突き当たるまでしっかりと差し込む。

② 念のため、イヤホンをもう一度押し込み、奥までしっかりと差し込まれていることを確認したら、イヤホンの「コードどめ」をほどく。

③ 音量つまみを左方向に回して、最小になるようにする。

④ 音声メモリーを袋から取り出し、矢印の面を裏にして、奥に突き当たるまでしっかりと差し込む。

⑤ 音声メモリーが正しく差し込まれているか確認する。
(注1) 正しく差し込まれていることを確認した後は音声メモリーには触らないこと。
(注2) 次の指示があるまで⑥には進まないこと。

⑥ IC プレーヤー裏側の「絶縁シート」を引き抜き、必要ないものは、IC プレーヤーが入っている袋の中に入れる。
(注1) 引き抜くときに表面のボタンを押さないように注意すること。
(注2) 次の指示があるまで⑦には進まないこと。

⑦ ①の「電源ボタン」を「電源ランプ」が光るまで長く押し続ける。
(注) 次の指示があるまで⑧には進まないこと。

⑧ イヤホンの左右を確認してから、耳に付けて、②の「確認ボタン」を、「作動中ランプ」が光るまで、長く押し続ける。
「作動中ランプ」が光ったら音量つまみを回して聞きやすい音量に調節する。
※左右を確認して装着する
↑コードは前に

【⑥～⑧は、それぞれ監督者の指示を待つこと】

⑥ IC プレーヤー裏側の「絶縁シート」を引き抜き、必要ないものは、IC プレーヤーが入っている袋の中に入れる。
(注1) 引き抜くときに表面のボタンを押さないように注意すること。
(注2) 次の指示があるまで⑦には進まないこと。

⑦ ①の「電源ボタン」を「電源ランプ」が光るまで長く押し続ける。
(注) 次の指示があるまで⑧には進まないこと。

⑧ イヤホンの左右を確認してから、耳に付けて、②の「確認ボタン」を、「作動中ランプ」が光るまで、長く押し続ける。
「作動中ランプ」が光ったら音量つまみを回して聞きやすい音量に調節する。
※左右を確認して装着する
↑コードは前に

裏面

(2) IC プレーヤーの操作

【各部の名前】

【IC プレーヤーの操作】

① 電源を入れる	1 電源ボタンを、電源ボタンの上にある「電源ランプ」が緑に光るまで長く押し続ける。
② 作動確認 (確認音声再生)	2 確認ボタンを、「作動中ランプ」が赤く光って確認音声が出るまで長く押し続ける。
③ 音量調節	音量つまみを、右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなる。(試験の最中いつでも調節可能です。)
④ 解答開始 (問題音声再生)	3 再生ボタンを、「作動中ランプ」が赤く光って問題音声が出るまで長く押し続ける。

(3) IC プレーヤーの操作の注意点

- IC プレーヤーのボタンは単にひと押しだけでは、作動しません。**1**「電源ボタン」は「電源ランプ」が緑に光るまで、**2**「確認ボタン」と**3**「再生ボタン」は「作動中ランプ」が赤く光って、音声が出るまで、長く押し続けます。
- 1**「電源」**2**「確認」**3**「再生」の順番を守らないボタン操作は受け付けません。
- IC プレーヤーには「一時停止」「早送り」「巻き戻し」の機能はありません。
- 音声メモリーの挿入方法がプッシュイン/プッシュアウト方式のため、一度挿入された音声メモリーを押すと、音声メモリーが飛び出します。再び挿入しても、問題音声を再生することはできませんので、正しく挿入されたことを確認した後は、音声メモリーに触れないでください。

39

D
リスニング

D
リスニング

38

5 IC プレーヤーの操作体験

大学入試センターのホームページ（→裏表紙）にある操作ガイドでは、IC プレーヤーの操作を体験することができます。IC プレーヤーの 3 つのボタンの長押しの方法や、操作上の注意事項、リスニングの流れが分かるようになっています。また、これまでの試験で実際に使用された問題音声を聞くこともできますので、試してみてください。

6 イヤホンが装着できない場合

- (1) 試験で使用するイヤホンは、平成 24 年 1 月の試験で使用したものと同じです。
このイヤホンが耳の形に合わず装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、出願時にイヤホン不適合措置を申請する必要があります。

(2) 装着具合の確認

あらかじめ、在学する（又は出身）高等学校や最寄りの大学入試センター試験参加大学等で実際にイヤホンを装着して耳に合うかどうかを確認し、イヤホンが耳の形に合わず装着できない場合は、必ず出願時にイヤホン不適合措置を申請してください。

(3) 申請方法

イヤホン不適合措置を希望する志願者は、出願時に、「イヤホン不適合措置申請書」を提出する必要があります。次の①又は②の方法により申請書を入手し、最寄りの大学入試センター試験に参加する大学（大学入試センターのホームページ（→裏表紙）に掲載しています。）の入試担当窓口で確認の署名をしてもらった後、志願票（第Ⅱ面）の所定の欄にはり付けて出願してください。
詳しい申請書の記入方法や申請方法は、この「イヤホン不適合措置申請書」に記載してあります。
なお、離島に居住する等の理由で、最寄りの大学入試センター試験に参加する大学で確認の署名をしてもらうことが困難な場合は、できるだけ早く大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に相談してください。

- ① 大学入試センターのホームページ（→裏表紙）からダウンロードしてください。

② ホームページからダウンロードできない場合は、次のア・イを封筒（表面に「イヤホン不適合措置申請書請求」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に請求してください。

ア 氏名、現住所、電話番号、在学（又は出身）学校名を記入した便せん等

イ 返信用封筒（長形 3 号：縦 23.5cm・横 12cm、表面に現住所・氏名を記入し、80 円分（速達希望の場合は 350 円分）の切手をはる。）

- (4) 出願時にイヤホン不適合措置の申請がない場合は、ヘッドホンの貸与は行いません。
また、試験当日にイヤホンが耳に合わないとしり出ても、対応しません。この場合、イヤホンを手で押さえて受験することになります。
なお、出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため、イヤホンを装着できなくなった場合は、出願後の不慮の事故等による受験特別措置（→p.34）によりヘッドホンの貸与を申請することができます。

7 解答時間中の事故等と再開テスト

(1) 解答時間中の事故等への対応について

- ① IC プレーヤーの音声が停止する等により、聞き取れなくなった場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げて、監督者に知らせてください。試験が終わってから、音声の不具合を申し出ることではできません。
- ② 解答時間中に挙手した場合の監督者との意思伝達については、周囲の受験者の解答の妨げにならないよう筆談で行います。
- ③ IC プレーヤーの不具合を申し出た受験者については、不具合の内容や再開解答番号（中断が発生した時点で解答していた番号）について確認した上で、試験終了後に再開テストを実施します。
- ④ 体調不良等により退室が必要となる受験者がいる場合は、監督者から周囲の受験者に対し、試験の中断を指示することがありますので、その際は、監督者の指示に従ってください。中断を指示された受験者は再開テストを受験することができますので、試験終了まで静かに待機しててください。

(2) 再開テストについて

解答時間中に、解答が続行できないような不慮の事故等があった場合には、監督者の指示で試験を中断することがあります。このようなときには、リスニングの試験終了後、別の IC プレーヤーにより当初解答していたものと同じ試験問題を使って、中断した設問からテストを再開します。
なお、解答時間中に日常生活騒音等が発生し、解答に支障があったとしり出ても、再開テストの対象とはなりません（→p.43）。

E 試験

1 受験に当たっての主な注意事項

(1) 試験当日の注意事項

- ① 試験場は受験票で指定します。指定された試験場以外では、いかなる理由があっても受験はできません。
- ② 受験票及び写真票は、試験当日必ず持参してください。
- ③ 受験教科として登録していない教科の試験時間は、試験室に入室できません。万一、登録していない教科を受験しても、その教科は採点されません。
- ④ 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻（17:10）までに入室していない場合は受験することができません。
なお、「地理歴史、公民」及び「理科」の試験時間において「2科目受験する」と登録した場合は、遅刻者の試験室への入室限度である9:50までに入室しないと、後半の第2解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。
- ⑤ 「地理歴史、公民」及び「理科」の試験時間において「2科目受験する」と登録した場合の試験時間は130分です。第1解答科目と第2解答科目の間の10分間は休憩時間ではありませんので、トイレ等で一時退室することはできません。
2科目を受験する場合の試験時間は、他の試験時間に比べて長くなっていますので、あらかじめトイレ等を済ませてから入室するようにしてください。
- ⑥ 自動車、バイク等での試験場構内への乗り入れを禁止します。
- ⑦ インフルエンザ等の感染症にかかり治癒していない者は、他の受験者や監督者等に感染するおそれがあるため受験はできません。追試験の受験を申請してください（→p.46）。

(2) 試験時間中の注意事項

① 所持品の扱い

- ア 受験票、写真票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、黒鉛筆（H、F、HB に限る。）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書や電卓等の機能があるもの・秒針音のするもの・大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）、目薬です。
ただし、シャープペンシル（黒い芯に限る。）は、メモや計算に使用する場合に限り机の上に置いておかまいません。これ以外の所持品を置いてはいけません。
- イ 携帯電話等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っている

② 解答上の注意事項

- ア 解答には、必ず黒鉛筆（H、F、HB に限る。）及びプラスチック製の消しゴムを使用してください。黒鉛筆以外のもの（シャープペンシル等）を使用してマークした場合には、解答が読み取れないことがありますので、使用しないでください。ただし、シャープペンシルは、メモや計算に限り使用しても差し支えありません。
- イ 「電子辞書」や「IC レコーダー」等の電子機器類、「定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）」「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具は使用できません。また、和歌・格言等が印刷されている鉛筆等は使用できません。
- ウ 解答科目がマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0 点となります。
- エ 受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
- オ 解答は、解答用紙の「マーク例」に従って、正しくマークしてください。マークが薄い場合、一部分しかマークしていない場合、訂正箇所を消しゴムできれいに消していない（消し跡が残っている）場合は、解答が正しく読み取れないことがあります。

③ その他の注意事項

- ア 試験時間中に監督者が写真票と受験者の顔の確認を行います。「マスク」や「帽子」を着用している場合、不正行為防止のため、一時的に外すよう監督者が指示することがあります。
- イ 試験時間中に日常生活騒音等（監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、照明の点滅、リスニングのイヤホンやヘッドホンからの音もれ、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。

(3) 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した大学入試センター試験のすべての教科・科目の成績を無効とします。

- ア 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真をはることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）をすること。
- イ カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- エ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- カ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- キ 試験時間中に、携帯電話や電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ク 試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。
- ケ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 前ページの①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ 試験監督者の指示に従わず、IC プレーヤーを操作したり IC プレーヤーの故障について虚偽の申出をすること。

エ IC プレーヤー・音声メモリーを試験室から持ち帰ること。

オ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。

カ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

キ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。

ク その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

(4) 解答用紙の正しいマーク・記入例

(試験場コード 200011, 受験番号 1120C の駒場次郎が「数学 I・数学 A」を選択解答する場合)

マーク例

良い例	悪い例
☒	☐ ☒ ☒

① 受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしなさい。

受 験 番 号 欄					
千位	百位	十位	一位	英字	
1	1	2	0	C	
-	0	0	☒	(A)	A
☒	☒	1	1	(B)	B
2	2	☒	2	☒	C
3	3	3	3	(H)	H
4	4	4	4	(K)	K
5	5	5	5	(M)	M
6	6	6	6	(R)	R
7	7	7	7	(U)	U
8	8	8	8	(X)	X
9	9	9	9	(Y)	Y
-	-	-	-	(Z)	Z

受験番号マーク
チェック欄

☒

③

- ・1科目だけマークしなさい。
- ・解答科目欄が無マーク又は複数マークの場合は、0点となります。

解答科目欄	
数 学 I ○	数 学 A ●

解答科目
チェック欄

☒

(解答欄略)

② 氏名・フリガナ、試験場コードを記入しなさい。

フリガナ	コ マ バ ジ ロ ウ					
氏 名	駒 場 次 郎					
試験場 コード	十 万 位	万 位	千 位	百 位	十 位	一 位
	2	0	0	0	1	1

氏名等
チェック欄

☒

2 追試験及び再試験

(1) 追試験の実施

① 追試験の対象者

- ア 病気（インフルエンザ・風邪等を含む。）・負傷により試験を受験できない者
- イ 試験場に向かう途中の事故により試験を受験できない者
- ウ その他やむを得ない事由（両親等の危篤・自宅の火災等）により試験を受験できない者

② 実施期日は、平成 25 年 1 月 26 日（土）、27 日（日）です。ただし、(2)の再試験をこの期日より後に実施する必要がある場合は、再試験と同一の期日に実施します。

③ 出題教科・科目及び試験時間等は、4 ページのとおりです。

④ 追試験の試験場は、全国を 2 地区に分け地区ごとに 1 か所設定します。
なお、地区別の試験場は、受験票等を送付する際に同封する「受験上の注意」に明示します。

⑤ 追試験の受験申請方法等の詳細については、「受験上の注意」に明示します。

(2) 再試験の実施

① 再試験は、雪・地震等による災害、試験実施上の事故、その他の事情により、本試験が所定の期日に実施できないか又は完了しなかった場合のみ実施します。

② この再試験は、原則として所定の期日までに受験希望を申し出た場合に許可します。

③ この再試験についての追試験はありません。

④ 再試験の実施期日は、平成 25 年 1 月 26 日（土）、27 日（日）とし、当日の実施が不可能な場合は、この期日より後にできるだけ速やかに実施します。

F 試験実施後

1 正解・平均点等の発表

(1) 正解等の発表

大学入試センター試験の本試験の正解及び配点については、各日の全試験終了後に、その日行われた科目分を大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で発表します。

追試験・再試験の正解及び配点については、それぞれの教科の試験の終了後に、各試験場において掲示します。

(2) 平均点等の発表

大学入試センター試験の平均点等については、平成 25 年 1 月 23 日（水）に中間発表を、2 月 7 日（木）に最終発表を、大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で行う予定です。

2 得点の調整

(1) 得点調整について

大学入試センター試験の本試験において次の各科目間で、原則として、20 点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。

- ① 地理歴史の「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」の間
- ② 公民の「現代社会」「倫理」「政治・経済」の間
- ③ 理科の「物理 I」「化学 I」「生物 I」「地学 I」の間

なお、平成 24 年度大学入試センター試験から出題科目とした「倫理、政治・経済」については、得点調整の対象とはなりません。

(2) 得点調整実施の有無の発表

得点調整の実施の有無については、平成 25 年 1 月 25 日（金）（予定）に発表し、得点調整を行う場合は、対象となる科目の得点の換算表を大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で公表します。

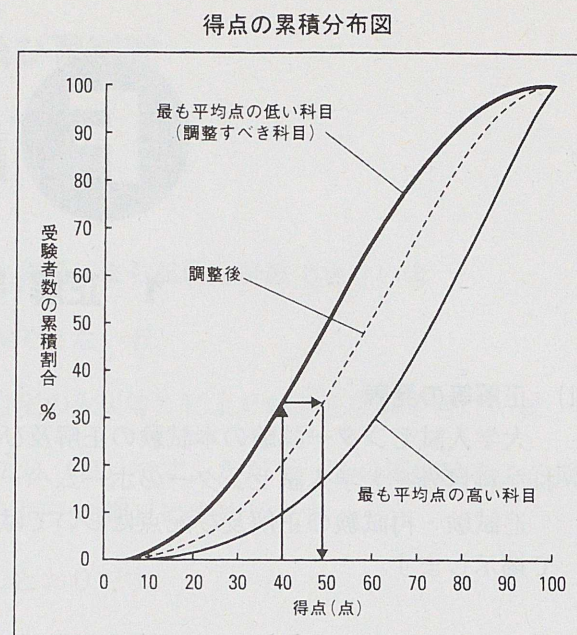
(3) 得点調整の方法

- ① 得点調整は、(1)の①～③のグループごとに、「分位点差縮小法」*という方式を用いて行います。
- ② 得点調整に当たっては、対象となる受験者と対象とならない受験者間での公平性の観点から、平均点差のすべてを調整するのではなく、調整後も平均点差が 15 点（通常起り得る平均点の変動範囲）となるようにします。

*「分位点差縮小法」とは、得点調整の対象となる科目のうち、最も平均点の高い科目と最も平均点の低い科目の得点の累積分布を比較し、図の縦軸の受験者数の累積割合(%)が等しい点(等分位点)の差(分位点差)を、一定の比率で縮小する方式です。

また、平均点が最大及び最小以外の科目についても、素点の平均点差が同一の比率で縮小されるよう調整します。縮小の比率は、15 点÷(最も平均点の高い科目の平均点－最も平均点の低い科目の平均点)とします。

この方式により、最も平均点の低い科目の得点の累積分布は、図中の点線で描かれた分布に移動することとなります。この点線の分布が調整後の得点の累積分布となり、横軸上の素点から矢印に沿って進み、再び横軸上に戻った点が調整後の得点となります。



3 試験成績の大学への提供方法

- (1) 大学入試センターは、大学入試センター試験に参加する各大学からの請求に基づき、当該大学の入学志願者の教科・科目の試験成績を、請求した各大学に対して提供します。各大学の教科・科目の指定については、大学入試センター試験出願前までに、各大学の募集要項等で確認してください。
- (2) 「国語」の特定分野を利用する大学へは、「国語」の成績とは別に出題分野別（「近代以降の文章」「古典（古文、漢文）」）の成績も提供します。
- (3) 地理歴史と公民の試験時間又は理科の試験時間において 2 科目を受験した場合は、大学からの請求に基づき「第 1 解答科目、第 2 解答科目それぞれの得点及びその合計点」又は「第 1 解答科目の得点」のいずれかを提供します。
 なお、大学が 1 科目のみの成績を利用する場合には、**第 1 解答科目の成績を優先して利用すること**がありますので、必ず、志望大学の募集要項等で確認してください。
- (4) 英語の成績については、筆記、リスニングを区別して両方の成績を提供します。
- (5) 大学入試センター試験に参加する各大学の教科・科目の指定と、指定された教科・科目数を超えて受験した場合の大学への成績提供を例示すると、次表のとおりです。

志願者に対する大学の指定	大学入試センターから大学への成績提供
国語、外国語の 2 教科から 1 教科選択	当該大学の志願者が国語、外国語を受験していれば、この 2 教科の成績
「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」「地学Ⅰ」の 4 科目から 1 科目選択	当該大学の志願者が第 1 解答科目として「物理Ⅰ」を、第 2 解答科目として「化学Ⅰ」を受験していれば、大学からの請求に基づき、この 2 科目の成績とその合計点、又は第 1 解答科目の「物理Ⅰ」の成績のいずれか



1 過年度の大学入試センター試験の成績を利用する選抜

一部の大学では大学入試センター試験の過年度（過去 3 年前まで）の成績を当該年度の入学選抜に利用しています。

大学入試センター試験に参加する大学の募集要項等で、過年度成績を利用しているかどうかについて確認してください。

(1) 大学入試センター試験の「過年度成績請求票」について

大学入試センター試験の過年度（平成 22 年度～平成 24 年度）の成績を利用する大学に志願する者は、当該大学に出願する際に大学入試センターが発行する「過年度成績請求票」を提出する必要がありますので、手続方法（→p.31）に従って、大学入試センターに申請してください。

また、該当する年度の「大学入試センター試験受験票」も必要となりますので、紛失して手元がない場合は、志望する大学に問い合わせてください。

(2) その他の注意事項

平成 26 年度以降の大学入学選抜において、平成 25 年度の大学入試センター試験の成績を利用する大学へ出願する際には、「平成 25 年度大学入試センター試験受験票」が必要となりますので、大切に保管しておいてください。

2 志望大学に確認すること

大学入試センター試験の志願者が志望する大学に確認すべき主な事項は、次のとおりです。各大学の募集要項等で確認してください。

(1) 志望大学が大学入試センター試験で志願者に解答させる教科・科目

大学入試センター試験に参加する各大学は、大学入試センター試験の出題教科・科目の中から、入学志願者に解答させる教科・科目及びその利用方法を定めています。志望する各大学の募集要項などをよく読んで確認の上、大学入試センター試験を受験してください。

(2) 志望大学へ出願する際に提出する「成績請求票」の種類等（→p.26）

(3) 志望大学を受験する際の「大学入試センター試験受験票」の取扱い（→p.26）

(4) 障害等のある志願者の志望大学との事前相談（→p.14）

3 個人情報の取扱い

(1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「独立行政法人大学入試センター保有個人情報の適切な管理のための措置に関する規則」に基づいて適切に取り扱います。

(2) 大学入試センターは、志願票に記載された氏名、住所その他の個人情報を、大学入試センター試験の実施（出願処理、試験実施）及びこれに付随する事項を行うために使用します。

(3) 大学入試センターは、志願者が個別学力検査等に出願した大学入試センター試験に参加する大学（以下、「各大学」という。）に対して、当該志願者の大学入試センター試験の成績、受験状況及び志願票に記載された個人情報を直接提供します。

(4) 大学入試センターは、各志願者の国公立大学への出願状況、合格状況及び入学手続状況を収集し、必要に応じ各国公立大学へ提供します。

(5) 大学入試センター及び各大学は、個人を特定できないように統計処理した個人情報のデータを、大学入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料として利用することがあります。

(6) 大学入試センターは、上記の各種業務での利用にあたって、一部の業務を大学入試センターより当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。ついては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供することがあります。

(7) 大学入試センターは、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、志願者本人の同意を得ることなく当該志願者の個人情報を他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

その他



高等学校等コード表

1 高等学校, 中等教育学校, 特別支援学校, 高等専門学校

(他の出願資格の者→p.68)

北海道		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ		ソ		タ		チ		ツ		テ		ト		ナ		ニ		ノ		ハ		ヒ		フ		ヘ		ホ		マ		ミ		ム		メ		モ		ヤ		ユ		ヨ		ラ		リ		ル		レ		ロ		カ		キ		ク		ケ		コ		サ			
-----	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	--	--

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

2 高等学校卒業程度認定試験等, 外国の学校等, 文部科学大臣の指定した者, 認定, 在外教育施設, 専修学校の高等課程

51000K	高等学校卒業程度認定試験	高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成 25 年 3 月 31 日までに合格見込みの者
	大学入学資格検定	大学入学資格検定に合格した者
52000E	外国の学校等	外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 25 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
53000A	文部科学大臣の指定した者	海技教育機構（旧海員学校）の本科を卒業した者及び平成 25 年 3 月卒業見込みの者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者等
54000F	認定	大学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 25 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者（学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者）であって、当該者をその後に入學させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもので平成 25 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
55000A	在外教育施設	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 25 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
56000G	専修学校の高等課程	専修学校の高等課程を修了した者及び平成 25 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

志望大学の選抜実施日程

大学入試センター試験参加大学の平成 25 年度入学者選抜の主な実施日程は次のとおりです。

(1) 国公立大学

入学者選抜要項発表	【平成 24 年】 7 月 31 日（火）まで
募集要項発表	12 月 15 日（土）まで
推薦入試（大学入試センター試験を課さない場合）の結果発表（実施大学のみ）	【平成 25 年】 1 月 25 日（金）まで
出願期間（前期日程、後期日程、公立大学中期日程への出願）	1 月 28 日（月）から 2 月 6 日（水）まで
第 1 段階選抜（前期日程）、推薦入試（大学入試センター試験を課す場合）、AO 入試の結果発表（実施大学のみ）	2 月 13 日（水）まで
第 1 段階選抜（公立大学中期日程）の結果発表（実施大学のみ）	2 月 20 日（水）まで
国公立大学の前期日程試験実施	2 月 25 日（月）から
第 1 段階選抜（後期日程）の結果発表（実施大学のみ）	2 月 28 日（木）まで
公立大学の中期日程試験実施	3 月 8 日（金）以降
公立大学の前期日程合格発表	3 月 1 日（金）から 3 月 10 日（日）まで
国立大学の前期日程合格発表	3 月 6 日（水）から 3 月 10 日（日）まで
国公立大学の後期日程試験実施	3 月 12 日（火）以降
公立大学の中期日程合格発表	3 月 20 日（水）から 3 月 23 日（土）まで
国公立大学の後期日程合格発表	3 月 20 日（水）から 3 月 24 日（日）まで

(注) 選抜実施日程は大学によって上表と異なる場合がありますので、必ず各大学の募集要項等で確認してください。

(2) 私立大学・公私立短期大学

大学入試センター試験に参加する私立大学・公私立短期大学の入学者選抜の実施日程については、大学入試センター試験の実施前に出願受付を行う大学や 2 月以降に出願受付を行う大学など様々です。それぞれの実施日程は、各大学の募集要項等で確認してください。

こんなときは？

分からない！	出願資格（証明書類）	→ p. 6
	出願方法	→ p.11
	志願票の記入方法	→ p.16
	検定料等の払込み方法	→ p.21
届かない！	確認はがき	→ p.23
	受験票	→ p.26
変更したい！	住所、氏名、電話番号の変更	→ p.30
再発行してほしい！	受験票・成績請求票	→ p.31
追加発行してほしい！	成績請求票（国公立AO入試用，私立大学・公 私立短期大学用のみ）	
過年度成績利用大学に 出願したい！	過年度成績請求票発行	
高卒認定について 知りたい！	文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課認定試験第二係 ☎03-5253-4111（代）	

受験案内を読んでも 分からないことがある！	→ 大学入試センターホームページをご覧ください。 「センター試験Q&A（よくある質問）」 http://www.dnc.ac.jp/ モバイルサイトもあります → http://www.dnc.ac.jp/i/ 
	→ ホームページを見ても分からない場合は… 志願者問い合わせ電話 TEL 03-3465-8600 9:30～17:00（土・日曜，祝日，12月28日～1月4日を除く）

〒153-8501 東京都目黒区駒場2-19-23
独立行政法人 大学入試センター事業第1課
http://www.dnc.ac.jp/

非売品

まず、下表の1～8の項目を確認して、「はい」を○で囲んでください。

1 5 1 8 8 7 9

郵便事業株式会社
代々木支店留置

独立行政法人

- () 専修学校の高等課程
() 文部科学大臣の指定した者
() 高卒認定・大検
() 個別入学資格審査
() 飛び入学

郵便事業株式会社
代々木支店留置

1 5 1 8 8 7 9

独立行政法人

大学入試センター
事業第一課
行

封をする前に！

まず、下表の1～8の項目を確認して、「はい」を○で囲んでください。

切手420円
(50gまで)
→郵便局の
窓口へ

簡易書留

大学入試センター試験
出願書類在中

10月12日(金) 消印有効

簡易書留引受番号

志願者	住所		
	(フリガナ)		
	氏名		
	出願資格 該当する資格の()に○を記入してください。	() 高等学校の卒業者 () 中等教育学校の卒業者 () 高等専門学校3年の修了者 () 外国の学校等 () 在外教育施設	() 専修学校の高等課程 () 文部科学大臣の指定した者 () 高卒認定・大検 () 個別入学資格審査 () 飛び入学

	点検項目	左の項目を確認して、「はい」を○で囲んでください。
1	あなたは、高等学校（中等教育学校、特別支援学校を含む。）の在校生ではありませんね？（→p.11） *在校生は出願書類を在籍する学校へ提出し、この封筒は使用しないでください。（ただし、高等学校卒業程度認定試験の資格で出願する者は、この封筒で個人出願してください。）	はい
2	封筒の中に「志願票」が入っていますか？	はい
3	志願票の第Ⅱ面に「受領印の押された検定料受付証明書」がはり付けられていますか？（→p.21）	はい
4	封筒の中に「卒業証明書」などの資格証明書（発行年月日は問わない。）が入っていますか？（→p.6）	はい
5	「卒業証明書」などは、発行元の封筒*から出してください（封筒は送付不要）。 *「開封無効」などの表示がある場合でも、大学入試センター試験の出願に当たっては開封してください。	はい
6	受験特別措置を申請する人は、「受験特別措置申請書」「診断書等」を同封していますね？ *受験特別措置の出願前申請を行った人を除く。	はい （該当する人のみ ○を付ける。）
7	クリップなどの不要なものは入っていませんか？	はい
8	封筒に入っているのは1人分の志願票ですね？	はい

★ 封をしてから、以下の9・10に従って郵送してください。

9	郵便ポストに投函してはいけません。	はい
10	郵便局の窓口で「簡易書留郵便」扱いにしてください。 *窓口で渡される、「簡易書留郵便物受領証」を保管しておいてください。	はい

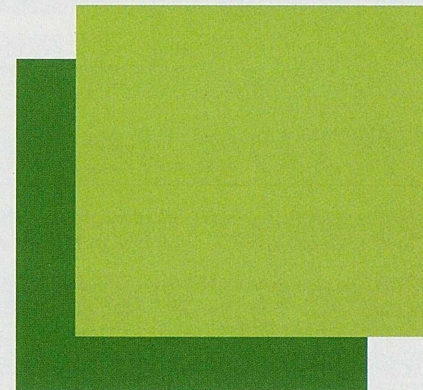
受験生の皆さんへ

ここがポイント

平成25年度

大学入試センター試験

～ 詳しくは「受験案内」で確認してください ～



独立行政法人大学入試センター

<http://www.dnc.ac.jp/>

受験教科事前登録制について

Point1

出願時に志願票で次の事項を登録します。

- ① 受験する教科名
- ② 地理歴史、公民と理科は受験する科目数
- ③ 別冊子試験問題の配付希望（数学②、外国語のみ）

★ 志願票の記入が終わったら、必ずコピーをとっておいてください。

Point2 の登録内容の確認が必要となります。

！ Check ！ 地理歴史と公民の扱い

Q. 受験教科の登録方法は？

A. 出願時は「地理歴史、公民」の1教科として登録し、その上で受験科目数のみを選択して登録します。

Q. 検定料の計算方法は？

A. 地理歴史と公民を合わせて1教科として数えます。例えば、国語、地理歴史、公民を受験する場合は右のようになります。

地理歴史と公民を合わせた10科目について、次の3つのうちから1つを選択して登録

- A…1科目受験する
- B…2科目受験する
- X…受験しない

※ 例えば、「A」を選択した場合は、試験当日に、地理歴史と公民を合わせた10科目の中から自由に1つの解答科目を選択することができます。

国語…1教科
地理歴史 } 合わせて1教科として数える
公民 }
合計2教科と数えるので、検定料は12,000円

Point2

確認はがきが届いたら、**Point1** の①～③の内容が正しく登録されているか確認します。

- ★ 志願票への記入誤り等により受験教科等の訂正が必要となった場合は、登録内容について訂正することができます。「登録内容訂正届」と「確認はがきのコピー」を、高等学校等卒業見込み者は在学している学校を経由して、それ以外の者は直接、大学入試センターに提出してください（締め切りは、11月9日（金）（消印有効））。
- ★ 「登録内容訂正届」の記入が終わったら、必ずコピーをとっておいてください。
- ★ 訂正期間終了後は、受験教科及び受験科目数の訂正は一切できません。

Point3

試験当日は・・・

- ・登録していない教科は受験できません！
- ・登録した地理歴史、公民と理科の受験科目数は変更できません！

実施方法について

地理歴史、公民、理科

Point1

地理歴史と公民は1試験時間で実施し、最大2科目を選択可能！

Point2

理科は1試験時間で実施し、最大2科目を選択可能！

解答はじめ！ 9:30

2科目受験者	1科目受験者
第1解答科目 試験開始 (60分)★1	
第1解答科目 試験終了	
答案回収・解答用紙配付 (10分)★2	
第2解答科目 試験開始 (60分)★3	試験開始 (60分)
第2解答科目 試験終了	試験終了

解答やめ！ 10:30

解答はじめ！ 10:40

解答やめ！ 11:40

「2科目受験する」と登録した者は、遅刻者の入室限度(9:50)を過ぎて遅刻すると、第1解答科目・第2解答科目の両方とも受験できなくなります。

- ★1 前半の60分で解答する科目を、「第1解答科目」と呼びます。
- ★2 2科目受験者が、第1解答科目のみを受験して第2解答科目を受験せずに途中退室することは認められません。
- ★3 後半の60分で解答する科目を、「第2解答科目」と呼びます。

！ Check ！ 実施方法について詳しく知りたい

■ 「地理歴史、公民」の問題冊子の配付について

登録した受験科目数(1又は2科目)にかかわらず、全ての受験者にパッケージ化された「地理歴史と公民の2冊」が配付されます。試験当日は、登録した受験科目数にしたがって、地理歴史、公民を合わせた10科目の中から解答科目を選択することができます。

■ 第1解答科目と第2解答科目の間の10分間について

2科目を受験する場合の試験時間は130分です。第1解答科目と第2解答科目の間の10分間は答案回収等に必要の時間であり休憩時間ではありません。トイレ等の一時退室はできません。

■ 平成25年度・試験時間割 ■

1月19日(土)

第1日目	
9:30	2科目受験者 地理歴史、公民 〔第1解答科目〕 (60分)
10:40	2科目受験者 地理歴史、公民 〔第2解答科目〕 (60分)
11:40	1科目受験者 地理歴史、公民 (60分)
13:00	国語 (80分)
14:20	
15:10	外国語 (筆記) (80分)
16:30	
17:10	
18:10	リスニング (60分)

1月20日(日)

第2日目	
9:30	2科目受験者 理科 〔第1解答科目〕 (60分)
10:40	2科目受験者 理科 〔第2解答科目〕 (60分)
11:40	1科目受験者 理科 (60分)
13:00	数学① (60分)
14:00	
14:50	数学② (60分)
15:50	

■ 地理歴史、公民、理科の大学への成績提供 ■

地理歴史、公民又は理科の試験時間において2科目を受験した場合は、大学からの請求に基づき、「2科目それぞれの得点とその合計点」又は「第1解答科目のみの得点」のいずれかを提供します。
成績の利用方法については、各大学の募集要項等であらかじめ確認してください。

独立行政法人大学入試センター事業第1課

問い合わせ先 TEL 03-3465-8600 (9:30～17:00 土・日曜、祝日、12月28日～1月4日は除く)
URL <http://www.dnc.ac.jp/>

必ずお読みください！

志願票は必ず志願者本人が記入すること！

1 記入する前に確認すること

- ① 黒のボールペンで丁寧に記入してください。
- ② 志願票は、第Ⅰ面と第Ⅱ面の両面を必ず記入してください。
- ③ 受験案内の16～19ページを必ず参照してください。

2 誤って記入してしまった場合

- ① 二重線を引き、余白部分に訂正してください（訂正印は不要です。）。
- ② この志願票は機械で読み取るわけではありません。訂正内容が人の目で見え判断できるようであれば、文字がマスからはみ出てもかまいません。

3 記入が終わったら

- ① 記入漏れや間違いがないか必ず確認してください。記入に当たって特に注意が必要な項目は、この表紙の裏面「チェック欄」にまとめてありますので、再度確認してください。
- ② 記入の済んだ志願票はコピーを取り、出願の際には原本を提出してください。出願受理後に、登録された志願票の記入事項について確認を求めます（→p.23）ので、コピーした志願票は、大切に保管しておいてください。

志願票（第Ⅰ面）の記入例 ★志願票の記入方法（→p.16-19）も参照してください。

* カタカナや数字は、下の例のとおり1マスに1字ずつ記入し、濁点及び半濁点も1マスを使用してください。

【例】 コマバアパート 1-34

コ マ ハ ア ハ ー ト 1 - 3 4

数字記入例

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

① 高等学校等コード表（→p.51-68）からコードと学校名を記入してください。

④～⑦ 高等学校卒業見込み及び卒業者は、該当する項目を○で囲み、卒業者は、⑦に卒業した年を記入してください。
高卒認定、大検、外国の学校、専修学校、大臣指定、認定、在外教育施設、高専の者は記入しないでください。（→p.17）

⑨・⑩ 志願者全員が必ず記入してください。

⑬・⑭ 確実に連絡の取れる電話番号を記入してください。

⑮・⑯ 現住所の登録は郵便番号、カタカナ、数字等記入欄で行うので、特に番地などの数字の記入漏れがないように注意してください。

平成25年度大学入学共通テストセンター試験 志願票 第Ⅰ面

出願期間：平成24年10月1日（月）～10月12日（金）（10月12日消印有効）

① 高等学校等コード表（p.51-68）からコードと学校名を記入してください。

② 受験特別措置

③ 学校記入欄

④ 課程

⑤ 学科

⑥ 卒業見込、卒業の年

⑦ 卒業した年

⑧ 高卒認定、大検、外国の学校、専修学校、大臣指定、認定、在外教育施設、高専の者のみ該当部分を○で囲んでください。（→p.17）

⑨ 性別

⑩ 出生年月日

⑪ 電話番号（自宅・下宿・携帯）

⑫ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

⑬ 電話番号（自宅・下宿・携帯）

⑭ 電話番号（本人）

⑮ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

⑯ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

⑰ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

⑱ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

⑲ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

⑳ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉑ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉒ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉓ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉔ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉕ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉖ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉗ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉘ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉙ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉚ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉛ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉜ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉝ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉞ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㉟ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊱ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊲ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊳ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊴ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊵ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊶ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊷ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊸ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊹ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊺ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊻ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊼ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊽ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊾ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

㊿ 現住所（郵便番号、カタカナ、数字等）

② 障害者等で受験の際に特別な措置を必要とする場合のみ○で囲んでください。（→p.13）
（出願前申請を行った場合も○）

③ 記入しないでください。

⑧ 高卒認定、大検、外国の学校、専修学校、大臣指定、認定、在外教育施設、高専の者のみ該当部分を○で囲んでください。（→p.17）

⑪ 該当する性別を○で囲んでください。

⑫ 該当する年号を○で囲み、年月日を記入してください。年月日が1けたの場合は、10のけたには「0」を記入してください。

提出時は、必ずこの用紙をはがしてください。
（この用紙は提出不要です。）

志願票（第Ⅱ面）の記入例 ★志願票の記入方法（→p.16-19）も参照してください。

【記入必須】

⑰ すべての教科の選択記入欄に、該当する選択肢を1つ選び、その記号を記入してください。

「地理歴史、公民」又は「理科」を受験する場合は、受験科目数（1科目又は2科目）を選択する必要があります。

「地理歴史、公民」は10科目、「理科」は6科目のうち何科目を受験するか選択してください。

イヤホンが耳の形に合わず装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合のみ申請書をはり付けてください。

（→p.40）

平成25年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 第Ⅱ面

①受験科目
受験するしないにかかわらず、必ず該当する選択肢を1つ選び、その記号を正しく記入してください。

教科名	選 択 記 入 欄	
国 語	A…受験する ×…受験しない	196
地理歴史 公 民	A…1科目受験する B…2科目受験する ×…受験しない	197
数 学	A…受験する ×…受験しない	198
理 科	A…1科目受験する B…2科目受験する ×…受験しない	199
外 国 語	A…受験する ×…受験しない	200

※選択記入欄に正しく記入されていない場合（未記入、複数記号を記入、選択肢のない文字を記入等）は、その教科は「受験しない」教科として登録します。

●受験科目数の計算について
選択記入欄に記入した「A」の数と「B」の数を足した合計が、検定料の払込金額を決める上での受験科目数となります。
例では、選択記入欄に「A」「B」「×」「×」「A」と記入した場合、受験科目数は、「Aが2つ」と「Bが1つ」で、合計3教科となります。

【希望者のみ】⑬別冊子試験問題配付希望
次の科目の受験を希望する者のみ記入してください。

希望する科目	希望する
数学Ⅱのうち次の科目 「微積分基礎」 「確率・統計」 「複素数平面」	希望する 201
外国語のうち次の科目 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	希望する 202

⑭成績通知欄
【成績通知】の希望の有無に○をしてください。

⑮払込金額
成績通知欄に希望する金額を記入してください。

⑯検定料払込書
検定料を必ず確認して下さい。
払込金額は、受験教科数と成績通知の希望の有無により4種類あります。
正しい、払込書を使用して、払込んでください。

⑰「イヤホン不適合抽選申請書」はり付け欄

★リスニングで使用するイヤホンが耳の形に合わず装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合抽選申請書」に必要事項を記入し、この欄にはがれないようしっかりと貼り付けてください。
（受験案内40ページ参照）

★E「検定料受付証明書」に受付局日附印が押されていることを確認してください。

★E「検定料受付証明書」に受付局日附印が押されていることを確認してください。

記入の済んだ志願票は両面ともコピーを取り、コピーは大切に保管してください。

⑱ 「数学②」・「外国語」で別冊子の配付を希望する場合は「希望する」の文字を○で囲んでください。

別冊子試験問題は、出願時に希望しなければ、試験当日、配付されません。（→p.19）

【記入必須】

⑲ 該当する方を○で囲んでください。
成績通知の希望の有無により払込金額が異なります。
払込金額に間違いがないか確認してください。

検定料等を払い込む前に払込金額を必ず確認して下さい。
払込金額は、受験教科数と成績通知の希望の有無により4種類あります。
正しい、払込書を使用して、払込んでください。

受付局日附印の押された「検定料受付証明書」をしっかりと貼り付けてください。

平成25年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 第Ⅰ面

出願期間：平成24年10月1日（月）～10月12日（金）（10月12日消印有効）

① 高等学校等コード
（「高等学校等コード表」により記入）

出身学校名

② 受験特別措置
希望する

学校記入欄
③ 整理番号
学校単位に一連番号を右に結めて記入してください。

④ 課 程
1 全 日 制 2 定 時 制 3 通 信 制

⑤ 学 科
1 普 通 科 2 理 数 科 3 農 業 科 4 工 業 科 5 商 業 科 6 総 合 学 科 7 左記以外の学科

⑥卒業見込・卒業の別
1 卒業見込 2 卒 業 ⑦卒業した年 S昭和 H平成

⑧ そ の 他 の 出 願 資 格
1 外国の学校等 2 在外教育施設 3 専修学校高等課程 4 文部科学大臣の指定した者 5 高等学校卒業程度認定試験の指定した者 6 その他 高専3年修了

⑨ カタカナ記入（姓と名の間を1マスあけ、濁点及び半濁点は1マスを使用してください。）

氏 名

⑩ 漢字等記入（かい書で丁寧に記入してください。姓と名の間を1マスあけてください。）

⑪ 性 別 1 男 2 女 57

⑫ 生 年 月 日
S昭和 H平成
58 59 60 61 62 63 64

⑬ 電話番号（自宅・下宿・寮）

⑭ 携帯電話（本人）

現 住 所
（志願者全員が、必ず記入してください。）

⑮郵便番号

⑯都道府県
市区郡
町村
丁目
番地
アパート・マンション名
号室
様方

★現住所の登録は⑮郵便番号、⑯カタカナ・数字等記入欄で行います。

★1マスに1字ずつ記入し、濁点及び半濁点は1マスを使用してください。

★1行に入らない場合は、区切りのよいところで改行してください。

★知人宅等に下宿をしている場合は、「〇〇様方」まで必ず記入してください。

漢字等 記 入

第Ⅱ面（裏面）も必ず記入してください。

【チェック欄】

次の項目は、志願票記入に当たって特に注意が必要です。志願票記入後に、以下の項目を、再度確認して、チェック欄に「○（マル）」を付けてください。

	項 目	チェック欄
1	誤った性別を○で囲んでいないか。（記入欄→⑪）	
2	生年月日の記入漏れや間違いがないか。（記入欄→⑫）	
3	電話番号の記入漏れや間違いがないか。（記入欄→⑬・⑭）	
4	現住所欄（カタカナ・数字等記入欄）で、番地などの記入漏れや間違いがないか。（記入欄→⑯）	
5	選択記入欄の記入漏れや間違いがないか。（記入欄→⑰）	
6	成績通知欄の記入漏れや間違いがないか。（記入欄→⑱）	
7	払込金額は正しい金額で払い込まれていますか。（検定料受付証明書はり付け欄）	
8	検定料受付証明書は所定の欄にはり付けられていますか。（検定料受付証明書はり付け欄）	

第Ⅱ面（裏面）も必ず記入してください。第Ⅰ面の記入だけでは、志願票の記入を終えたことになりません。

平成25年度大学入学選抜大学入試センター試験 志願票 第Ⅱ面

⑰受験教科

受験する・しないにかかわらず、必ず該当する選択肢を1つ選び、その記号を正しく記入してください。

教科名	選択記入欄	
国語	A…受験する ×…受験しない	196
地理歴史 公民	A…1科目受験する B…2科目受験する ×…受験しない	197
数学	A…受験する ×…受験しない	198
理科	A…1科目受験する B…2科目受験する ×…受験しない	199
外国語	A…受験する ×…受験しない	200

※選択記入欄に正しく記入されていない場合（未記入、複数の記号を記入、選択肢にない文字を記入等）は、その教科は「受験しない」教科として登録します。

●受験教科数の計算について

- ・選択記入欄に記入した「A」の数と「B」の数を足した合計が、検定料の払込金額を決める上での受験教科数となります。
- ・例えば、選択記入欄に上から順番に「A、B、×、×、A」と記入した場合、受験教科数は、「Aが2つ」と「Bが1つ」で、合計3教科となります。

【希望者のみ】⑱別冊子試験問題配付希望

次の科目の受験を希望する者のみ記入してください。

数学②のうち次の科目

「工業数理基礎」
「簿記・会計」
「情報関係基礎」

希望する
201

外国語のうち次の科目

「ドイツ語」
「フランス語」
「中国語」
「韓国語」

希望する
202

⑲成績通知

成績通知

【成績通知】の希望の有無に○をしてください。

1希望する 2希望しない

203

払込金額

		成績通知	
		希望する	希望しない
受験教科数	3教科以上	18,800円	18,000円
	2教科以下	12,800円	12,000円

【該当者のみ】

「イヤホン不適合措置申請書」はり付け欄

- ★リスニングで使用するイヤホンが耳の形に合わず装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」に必要事項を記入し、この欄にはがれないようしっかりとはり付けてください。
(受験案内40ページ参照)

検定料払込書のうち**E**と表示された「検定料受付証明書」を、右の太枠の中にはがれないようしっかりとはり付けてください。

- ★必ず金融機関の受付窓口で払い込んでください。

- ★**E**「検定料受付証明書」に受付局日附印が押されていることを確認してください。

E 検定料受付証明書はり付け欄

記入の済んだ志願票は両面ともコピーを取り、コピーは大切に保管してください。

払込みの際は、

↑ 払込みの際は、このミシン目で切り取ってから提出してください。

42 東京DT		払込取扱票 (振込通知書)										通常払込料金 加入者負担									
口座記号番号										金額		千 百 十 万 千 百 十 円									
0 0 1 4 0 9										8 8 0 0 4 3		1 8 8 0 0									

成績通知を希望する

3教科以上受験者用払込書

- ① 払込書は、受験教科数や成績通知希望の有無で異なります。受験案内の21ページを参照し、「3教科以上受験」「成績通知を希望する」で間違いがないか確認してください。
- ② A～Eの※印の欄に志願者本人の氏名等を記入してください。
- ③ 必ず窓口で払い込み、ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。
- ④ E「検定料受付証明書」を志願票にはり付けて、Dなどは控えとして保管しておいてください。

必ずお読み
ください！

払込票

口座記号番号	0 0 1 4 0 9										金額		千 百 十 万 千 百 十 円									
0 0 1 4 0 9										8 8 0 0 4 3		1 8 8 0 0										

3
—
円
0
支店
B
様

払込金受入票 (振込依頼書)

0 0 1 4 0 9										8 8 0 0 4 3									
ダイ ガク ニュウ シ セ ン タ ー										大 学 入 試 セ ン タ ー									
千 百 十 万 千 百 十 円										1 8 8 0 0									
振込先										電信扱 銀行 支店 普通									
No 1014188 支払期限2013年10月11日 C										1014188 は必ず氏名の前に打電してください。									
(住所・氏名 (フリガナ) ※										(電話番号 - -)									
料 金										日 附 印									
備 考										日 附 印									

各票の記載事項に間違いのないことをお確かめください。

振替払込請求書兼受領証 (振込金 (兼手数料) 受領書)

0 0 1 4 0 9										8 8 0 0 4 3									
ダイ ガク ニュウ シ セ ン タ ー										大 学 入 試 セ ン タ ー									
千 百 十 万 千 百 十 円										1 8 8 0 0									
振込先										電信扱 銀行 支店 普通									
No 1014188 D										氏名 (フリガナ) ※									
(消費税込み)										日 附 印									
料 金										日 附 印									
備 考										日 附 印									

この受領証は、大切に保管してください。

振替払込受付証明書 (お客さま用)

No 1014188										¥18,800									
口座記号番号										00140-9-880043									
加入者名										ダイガクニューセンター 大学入試センター									
志願者住所氏名 (フリガナ) ※										E									
日 附 印										日 附 印									

振替払込受付証明書 (お客さま用)

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

大学入試センター試験 検定料受付証明書

「払込みの際は、このシシン目で切り取ってから提出してください。」

払込取扱票 (振込通知書)										通常払込料金 加入者負担									
口座記号番号										金額									
001409880043										18800									
加入者名 大学入試センター										料金									
振込 電信扱										銀行 支店 普通									
20										100001014188 300000018800									
通信欄										No 1014188 支払期限2013年10月11日									
住所 (郵便番号)										必ず窓口で払い込み、ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。									
志願者										氏名 (フリガナ)									
A										様									
日附印										日附印									
料金額										備考									
備考										備考									



記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

払込票

口座記号番号										金額									
001409880043										18800									
加入者名 大学入試センター										料金									
振込先 電信扱										銀行 支店 普通									
志願者										No 1014188 B									
氏名 (フリガナ)										様									
日附印										日附印									
料金額										備考									
備考										備考									

払込金受入票 (振込依頼書)

口座記号番号										金額									
001409880043										18800									
加入者名 大学入試センター										料金									
振込先 電信扱										銀行 支店 普通									
志願者										No 1014188 C									
氏名 (フリガナ)										は必ず氏名の前に打電してください。									
日附印										日附印									
料金額										備考									
備考										備考									

各票の記載事項に間違いのないことをお確かめください。

振替払込請求書兼受領証 (振込金(兼手数料)受領書)

口座記号番号										金額									
001409880043										18800									
加入者名 大学入試センター										料金									
振込先 電信扱										銀行 支店 普通									
志願者										No 1014188 D									
氏名 (フリガナ)										様									
日附印										日附印									
料金額										備考									
備考										備考									

この受領証は、大切に保管してください。

振替払込受付証明書 (お客さま用)

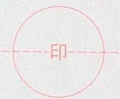
加入者名 大学入試センター										No 1014188									
振込先 電信扱										金額 ¥18,800									
口座記号番号										00140-9-880043									
加入者名 大学入試センター										氏名 (フリガナ)									
志願者住所氏名 (フリガナ)										E									
日附印										日附印									
料金額										備考									
備考										備考									

(承認番号 東証第1857号)

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
3万円以上
貼付



大学入試センター指定金融機関

口座名義 『独立行政法人大学入試センター 理事長 山本 廣基』
(都市銀行)

みずほ銀行	東京営業部	普通	2611174	三井住友銀行	東京公務部	普通	3022701	りそな銀行	東京営業部	普通	2205125
三菱東京UFJ銀行	渋谷中央支店	普通	6609956	埼玉りそな銀行	さいたま営業部	普通	3848222				

(地方銀行)

北海道銀行	東京支店	普通	0543781	青森銀行	東京支店	普通	1004331	みちのく銀行	東京支店	普通	3119548
秋田銀行	東京支店	普通	179072	北部銀行	東京支店	普通	2621656	荘内銀行	東京支店	普通	006758
山形銀行	東京支店	普通	0204161	岩手銀行	東京営業部	普通	1056221	東北銀行	東京支店	普通	3102045
七十七銀行	東京支店	普通	5247233	東邦銀行	東京支店	普通	144637	群馬銀行	東京支店	普通	0277495
足利銀行	東京支店	普通	2845039	常陽銀行	新宿支店	普通	1050927	筑波銀行	東京支店	普通	1001006
武蔵野銀行	東京支店	普通	012135	千葉銀行	東京営業部	普通	3236946	千葉興業銀行	東京支店	普通	2864431
東京都民銀行	渋谷支店	普通	4012785	横浜銀行	東京支店	普通	1218012	第四銀行	東京支店	普通	1101223
北越銀行	東京支店	普通	231895	山梨中央銀行	新宿支店	普通	263416	八十二銀行	東京営業部	普通	166241
北陸銀行	東京支店	普通	5002020	富山銀行	本店営業部	普通	0570807	北國銀行	東京支店	普通	091976
福井銀行	東京支店	普通	1087024	静岡銀行	東京支店	普通	260966	スルガ銀行	東京支店	普通	164257
清水銀行	東京支店	普通	2072924	大垣共立銀行	東京支店	普通	313918	十六銀行	東京支店	普通	1077529
三重銀行	東京支店	普通	987459	百五銀行	東京営業部	普通	52250	滋賀銀行	東京支店	普通	154406
京都銀行	東京支店	普通	3371501	近畿大阪銀行	本店営業部	普通	0241260	池田泉州銀行	東京支店	普通	1336551
南都銀行	東京支店	普通	0004033	紀陽銀行	東京支店	普通	76222	但馬銀行	本店営業部	普通	4068714
鳥取銀行	本店営業部	普通	0003873	山陰合同銀行	東京支店	普通	2135886	中国銀行	東京支店	普通	1103308
広島銀行	東京支店	普通	1045504	山口銀行	東京支店	普通	6053935	阿波銀行	東京支店	普通	1000391
百十四銀行	東京支店	普通	0338983	伊予銀行	東京支店	普通	1157009	四国銀行	東京支店	普通	0126006
福岡銀行	東京支店	普通	379943	筑邦銀行	本店営業部	普通	2041452	佐賀銀行	東京支店	普通	1088403
十八銀行	東京支店	普通	17563	親和銀行	東京支店	普通	0996156	肥後銀行	東京支店	普通	1114781
大分銀行	東京支店	普通	5014910	宮崎銀行	東京支店	普通	376	鹿児島銀行	東京支店	普通	173480
琉球銀行	東京支店	普通	36415	沖縄銀行	東京支店	普通	1152019	西日本シティ銀行	東京支店	普通	0511088

〈志願者への注意事項〉

※上記銀行の本・支店間及びゆうちょ銀行・郵便局を利用した場合の振込手数料は、受取人（大学入試センター）の負担となります。

※上記以外の金融機関（信用金庫、農協など）を利用した場合の振込手数料は、志願者本人の負担となります。

〈銀行窓口担当者への注意事項〉

※本様式の右から2枚は志願者へ返還してください。

この場所には、何も記載しないでください。

「払込みの際は、提出してください。」

↑
払込みの際は、このシンシ目で切り取ってから提出してください。

42		東京DT		払込取扱票 (振込通知書)										通常払込料金 加入者負担													
口座記号番号										金額		千		百		十		万		千		百		十		円	
001409										880043						18000											

成績通知を希望しない

3教科以上受験者用払込書

- ① 払込書は、受験教科数や成績通知希望の有無で異なります。受験案内の21ページを参照し、「3教科以上受験」「成績通知を希望しない」で間違いがないか確認してください。出願後に、「成績通知を希望する」に変更することはできません。
- ② A～Eの※印の欄に志願者本人の氏名等を記入してください。
- ③ 必ず窓口で払い込み、ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。
- ④ E「検定料受付証明書」を志願票にはり付けて、Dなどは控えとして保管しておいてください。

払込票										通常払込 料金加入 者負担																	
口座記号番号										金額		千		百		十		万		千		百		十		円	
001409										880043						18000											

必ずお読み
ください！

各票の記載事項に間違いのないことをお確かめください。

払込金受入票 (振込依頼書)																											
口座記号番号										金額		千		百		十		万		千		百		十		円	
001409										880043						18000											

加入者名		ダイガクニューシセンター		大学入試センター	
金額				18000	
振込先		電信扱		銀行 支店 普通	
志願者		No 8014188		支払期限2013年10月11日	
		(8014188		は必ず氏名の前に打電してください。)	
住所・氏名 (フリガナ)					
料金額				日 附 印	
備考					

振替払込請求書兼受領証 (振込金 (兼手数料) 受領書)																											
口座記号番号										金額		千		百		十		万		千		百		十		円	
001409										880043						18000											

加入者名		ダイガクニューシセンター		大学入試センター	
金額				18000	
振込先		電信扱		銀行 支店 普通	
志願者		No 8014188		D	
氏名 (フリガナ)					
料金額				日 附 印	
備考					

振替払込受付証明書 (お客さま用)																											
口座記号番号										金額		千		百		十		万		千		百		十		円	
001409										880043						18000											

加入者名		ダイガクニューシセンター		大学入試センター	
金額				18000	
振込先		電信扱		銀行 支店 普通	
志願者		No 8014188		D	
氏名 (フリガナ)					
料金額				日 附 印	
備考					

(承認番号 東証第1857号)

「払込みの際は、このシシ目まで切り取ってから提出してください。」

42 東京DT		払込取扱票 (振込通知書)										通常払込料金 加入者負担			
口座記号番号										金額		千 百 十 万 千 百 十 円			
0 0 1 4 0 9 8 8 0 0 4 3												1 8 0 0 0			
ダイ ガク ニュウ シ セ ン タ ー 大学入試センター										料金		備考			
加入者振込 電信扱										銀行		支店 普通			
20		200008014188 1000000018000													
通信欄		No 8014188 支払期限2013年10月11日 必ず窓口で払い込み、ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。													
志願者		住所(郵便番号) A 氏名(フリガナ) 様 (電話番号)										日附印			
この払込票は、機械で処理しますので、中央の欄を汚さないよう特にご注意ください。 裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東DT第707号) これより下部には何も記入しないでください。															



払込票

口座記号番号										金額		千 百 十 万 千 百 十 円			
0 0 1 4 0 9 8 8 0 0 4 3												1 8 0 0 0			
ダイ ガク ニュウ シ セ ン タ ー 大学入試センター										料金		備考			
加入者振込 電信扱										銀行		支店 普通			
No 8014188 B 氏名(フリガナ) 様										日附印					
志願者										料 金		備 考			

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出ください。

払込金受入票 (振込依頼書)

口座記号番号										金額		千 百 十 万 千 百 十 円			
0 0 1 4 0 9 8 8 0 0 4 3												1 8 0 0 0			
ダイ ガク ニュウ シ セ ン タ ー 大学入試センター										振込先 電信扱		銀行 支店 普通			
No 8014188 支払期限2013年10月11日 C (8014188 は必ず氏名の前に打電してください。)										志願者		料 金			
住所・氏名(フリガナ) (電話番号)										日附印					
備 考										日附印					

各票の記載事項に間違いのないことをお確かめください。

振替払込請求書兼受領証 (振込金(兼手数料)受領書)

口座記号番号										金額		千 百 十 万 千 百 十 円			
0 0 1 4 0 9 8 8 0 0 4 3												1 8 0 0 0			
ダイ ガク ニュウ シ セ ン タ ー 大学入試センター										振込先 電信扱		銀行 支店 普通			
No 8014188 D 氏名(フリガナ) *										志願者		料 金			
(消費税込) 円										日附印					
備 考										日附印					

(ゆうちょ銀行)

振替払込受付証明書 (お客さま用)

ゆうちょ銀行 (志願者→郵便局→志願者) 銀行 大学入試センター試験 検定料受付証明書									
No 8014188 払込金額 ¥18,000									
口座記号番号 00140-9-880043									
加入者名 ダイガクニュウシセンター 大学入試センター 志願者住所氏名(フリガナ) *									
E									
日 附 印									
(承認番号 東証第1857号)									

「払込みの際は、

↑ 払込みの際は、このミシン目で切り取ってから提出してください。

42		東京DT		払込取扱票 (振込通知書)										通常払込料金 加入者負担													
口座記号番号										金額		千		百		十		万		千		百		十		円	
001409880043										12800																	

成績通知を希望する 2教科以下受験者用払込書

- ① 払込書は、受験教科数や成績通知希望の有無で異なります。受験案内の21ページを参照し、「2教科以下受験」「成績通知を希望する」で間違いがないか確認してください。
- ② A～Eの※印の欄に**志願者本人の氏名等**を記入してください。
- ③ 必ず窓口で払い込み、ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。
- ④ E「検定料受付証明書」を志願票にはり付けて、Dなどは控えとして保管しておいてください。

払込票

口座記号番号	001409	通常払込料金加入者負担	3
--------	--------	-------------	---

必ずお読み
ください！

3

1

0

0

支店

B

様

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

払込金受入票 (振込依頼書)

口座記号番号	001409	通常払込料金加入者負担	3
--------	--------	-------------	---

ダイガクニューシセンター
大学入試センター

千 百 十 万 千 百 十 円
1 2 8 0 0

振込先 電信扱 銀行 支店 普通

No 9014188 支払期限2013年10月11日 C
(9014188 は必ず氏名の前に打電してください。)

住所・氏名(フリガナ) ※ (電話番号 - -)

料 金

備 考

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

振替払込請求書兼受領証 (振込金(兼手数料)受領書)

口座記号番号	001409	通常払込料金加入者負担	3
--------	--------	-------------	---

ダイガクニューシセンター
大学入試センター

千 百 十 万 千 百 十 円
1 2 8 0 0

振込先 電信扱 銀行 支店 普通

No 9014188 D

氏名(フリガナ) ※ (電話番号 - -)

料 金

備 考

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

振替払込受付証明書 (お客さま用)

ゆうちょ銀行

(志願者→郵便局→志願者)

銀行

大学入試センター試験

検定料受付証明書

No 9014188

¥12,800

口座記号番号

00140-9-880043

加入者名

ダイガクニューシセンター

大学入試センター

志願者住所氏名(フリガナ)

※

E

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

日 附 印

→ 払込みの際は、このシシン目で切り取ってから提出してください。

各票の※印欄は、志願者において記載してください。

42		東京DT		払込取扱票 (振込通知書)										通常払込料金 加入者負担			
口座記号番号										金額		千 百 十 万 千 百 十 円					
0 0 1 4 0 9 8 8 0 0 4 3										1 2 8 0 0							
加入者名		ダイ ガク ニュウ シ セ ン タ ー								料 金		備考					
振込先		電信扱 銀行 支店 普通															
20		500009014188 500000012800															
通信欄		No 9014188 支払期限2013年10月11日 必ず窓口で払い込み、ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。															
志願者		住所 (郵便番号) 氏名 (フリガナ) (電話番号)								A 様		日 附 印					

この払込書は、機械で処理しますので、中央の欄を汚さないよう特にご注意ください。
裏面の注意事項をお読みください。〔ゆうちょ銀行〕〔承認番号東DT第707号〕

これより下部には何も記入しないでください。



払込票

口座記号番号		0 0 1 4 0 9 8 8 0 0 4 3										通常払込 料金加入 者負担	
加入者名		ダイ ガク ニュウ シ セ ン タ ー											
金額		1 2 8 0 0											
振込先		電信扱 銀行 支店 普通											
志願者		No 9014188 B 様 氏名 (フリガナ) ※											
料金		日 附 印											
備考													

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出しください。

払込金受入票 (振込依頼書)

口座記号番号		0 0 1 4 0 9 8 8 0 0 4 3										通常払込 料金加入 者負担	
加入者名		ダイ ガク ニュウ シ セ ン タ ー											
金額		1 2 8 0 0											
振込先		電信扱 銀行 支店 普通											
志願者		No 9014188 C 様 氏名 (フリガナ) ※ (9014188 は必ず氏名の前に打電してください。) (電話番号)											
料金		日 附 印											
備考													

各票の記載事項に間違いのないことをお確かめください。

振替払込請求書兼受領証 (振込金(兼手数料)受領書)

口座記号番号		0 0 1 4 0 9 8 8 0 0 4 3										通常払込 料金加入 者負担	
加入者名		ダイ ガク ニュウ シ セ ン タ ー											
金額		1 2 8 0 0											
振込先		電信扱 銀行 支店 普通											
志願者		No 9014188 D 様 氏名 (フリガナ) ※ (消費税込み)											
料金		日 附 印											
備考													

(ゆうちょ銀行)

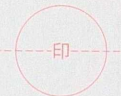
振替払込受付証明書 (お客さま用)

加入者名		ダイ ガク ニュウ シ セ ン タ ー										通常払込 料金加入 者負担	
金額		1 2 8 0 0											
振込先		電信扱 銀行 支店 普通											
志願者		No 9014188 E 様 氏名 (フリガナ) ※ (消費税込み)											
料金		日 附 印											
備考													

(承認番号 東証第1857号)

(ご注意)
・この用紙は、機械で処理します
ので、金額を記入する際は、枠内には
っきりと記入してください。
また、本票を汚したり、折り曲げたり
しないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便
局の払込機能付きATMでもご利用
いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便
局の渉外員にお預けになるときは、引
換えに預り証を必ずお受け取りくださ
い。
・ご依頼人様からご提出いただきました
払込書に記載されたおところ、おなま
え等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となる
ものですから大切に保管してください。

収入印紙
3万円以上
貼付



大学入試センター指定金融機関											
口座名義 「独立行政法人大学入試センター 理事長 山本 廣基」											
(都市銀行)											
みずほ銀行	東京営業部	普通	2611174	三井住友銀行	東京公務部	普通	3022701	りそな銀行	東京営業部	普通	2205125
三菱東京UFJ銀行	渋谷中央支店	普通	6609956	埼玉りそな銀行	さいたま営業部	普通	3848222				
(地方銀行)											
北海道銀行	東京支店	普通	0543781	青森銀行	東京支店	普通	1004331	みちのく銀行	東京支店	普通	3119548
秋田銀行	東京支店	普通	179072	北都銀行	東京支店	普通	2621656	荘内銀行	東京支店	普通	006758
山形銀行	東京支店	普通	0204161	岩手銀行	東京営業部	普通	1056221	東北銀行	東京支店	普通	3102045
七十七銀行	東京支店	普通	5247233	東邦銀行	東京支店	普通	144637	群馬銀行	東京支店	普通	0277495
足利銀行	東京支店	普通	2845039	常陽銀行	新宿支店	普通	1050927	筑波銀行	東京支店	普通	1001006
武蔵野銀行	東京支店	普通	012135	千葉銀行	東京営業部	普通	3236946	千葉興業銀行	東京支店	普通	2864431
東京都市銀行	渋谷支店	普通	4012785	横浜銀行	東京支店	普通	1218012	第四銀行	東京支店	普通	1101223
北越銀行	東京支店	普通	231895	山梨中央銀行	新宿支店	普通	263416	八十二銀行	東京営業部	普通	166241
北陸銀行	東京支店	普通	5002020	富山銀行	本店営業部	普通	0570807	北國銀行	東京支店	普通	091976
福井銀行	東京支店	普通	1087024	静岡銀行	東京支店	普通	260966	スルガ銀行	東京支店	普通	164257
清水銀行	東京支店	普通	2072924	大垣共立銀行	東京支店	普通	313918	十六銀行	東京支店	普通	1077529
三重銀行	東京支店	普通	987459	百五銀行	東京営業部	普通	52250	滋賀銀行	東京支店	普通	154406
京都銀行	東京支店	普通	3371501	近畿大阪銀行	本店営業部	普通	0241260	池田泉州銀行	東京支店	普通	1336551
南都銀行	東京支店	普通	0004033	紀陽銀行	東京支店	普通	76222	但馬銀行	本店営業部	普通	4068714
鳥取銀行	本店営業部	普通	0003873	山陰合同銀行	東京支店	普通	2135886	中国銀行	東京支店	普通	1103308
広島銀行	東京支店	普通	1045504	山口銀行	東京支店	普通	6053935	阿波銀行	東京支店	普通	1000391
百十四銀行	東京支店	普通	0338983	伊予銀行	東京支店	普通	1157009	四国銀行	東京支店	普通	0126006
福岡銀行	東京支店	普通	379943	筑邦銀行	本店営業部	普通	2041452	佐賀銀行	東京支店	普通	1088403
十八銀行	東京支店	普通	17563	親和銀行	東京支店	普通	0996156	肥後銀行	東京支店	普通	1114781
大分銀行	東京支店	普通	5014910	宮崎銀行	東京支店	普通	376	鹿児島銀行	東京支店	普通	173480
琉球銀行	東京支店	普通	36415	沖縄銀行	東京支店	普通	1152019	西日本シティ銀行	東京支店	普通	0511088

(志願者への注意事項)
※上記銀行の本・支店間及びゆうちょ銀行・郵便局を利用した場合の振込手数料は、受取人（大学入試センター）の負担となります。
※上記以外の金融機関（信用金庫、農協など）を利用した場合の振込手数料は、志願者本人の負担となります。
(銀行窓口担当者への注意事項)
※本様式の右から2枚は志願者へ返還してください。

この場所には、何も記載しないでください。

↑ 払込みの際は、提出してください。

払込みの際は、このミシン目で切り取ってから提出してください。

42	東京DT	払込取扱票 (振込通知書)										通常払込料金加入者負担			
口座記号番号										金額		千 百 十 万 千 百 十 円			
0 0 1 4 0 - 9 - 8 8 0 0 4 3										1 2 0 0 0					

成績通知を希望しない

2教科以下受験者用払込書

- ① 払込書は、受験教科数や成績通知希望の有無で異なります。受験案内の21ページを参照し、「2教科以下受験」「成績通知を希望しない」で間違いがないか確認してください。出願後に、「成績通知を希望する」に変更することはできません。
- ② A～Eの※印の欄に**志願者本人の氏名等**を記入してください。
- ③ 必ず窓口で払い込み、ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。
- ④ E「検定料受付証明書」を志願票にはり付けて、Dなどは控えとして保管しておいてください。

必ずお読みください！

払込票

口座記号番号	0 0 1 4 0 - 9 -										通常払込料金加入者負担			
加入者名	ダイ ガク ニュウ シ セ ン タ ー													
金額	千 百 十 万 千 百 十 円													
振込先	電信扱 銀行 支店 普通													
志願者	No 3014188 支払期限2013年10月11日 C (3014188 は必ず氏名の前に打電してください。) 住所・氏名（フリガナ） ※ (電話番号)													
料金	日													
備考	附 印													

払込金受入票 (振込依頼書)

口座記号番号	0 0 1 4 0 - 9 -										通常払込料金加入者負担			
加入者名	ダイ ガク ニュウ シ セ ン タ ー													
金額	千 百 十 万 千 百 十 円													
振込先	電信扱 銀行 支店 普通													
志願者	No 3014188 支払期限2013年10月11日 C (3014188 は必ず氏名の前に打電してください。) 住所・氏名（フリガナ） ※ (電話番号)													
料金	日													
備考	附 印													

振替払込請求書兼受領証 (振込金(兼手数料)受領書)

口座記号番号	0 0 1 4 0 - 9 -										通常払込料金加入者負担			
加入者名	ダイ ガク ニュウ シ セ ン タ ー													
金額	千 百 十 万 千 百 十 円													
振込先	電信扱 銀行 支店 普通													
志願者	No 3014188 D 氏名（フリガナ） ※ (消費税込)													
料金	日													
備考	附 印													

振替払込受付証明書 (お客さま用)

(志願者→郵便局→志願者) 銀行													
大学入試センター試験 検定料受付証明書													
No	3014188												
払込金額	¥12,000												
口座記号番号	00140-9-880043												
加入者名	ダイガクニュウシセンター 大学入試センター												
志願者住所氏名(フリガナ)	※ E												
日 附 印													

(承認番号 東証第1857号)

(ゆうちょ銀行)

「払込みの際は、バーコードのシンボル目印で切り取ってから提出してください。

払込取扱票 (振込通知書)		通常払込料金 加入者負担	
42	東京DT		
口座記号番号		金額	
001409880043		12000	
加入者振込先	ダイガクニューシセンター	料金	備考
電信扱	銀行	支店	普通
20700003014188300000012000			
通信欄			
No3014188 支払期限2013年10月11日			
必ず窓口で払い込み、ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。			
住所(郵便番号)		A	
氏名(フリガナ)		様	
(電話番号)		日附印	
この払込書は、機械で処理しますので、中央の欄を汚さないよう特にご注意ください。			
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東京DT第707号)			
これより下部には何も記入しないでください。			



払込票

口座記号番号	001409	通常払込 料金加入 者負担
加入者名	ダイガクニューシセンター	
金額	880043	
振込先	大学入試センター	
金額	12000	
振込先	電信扱	銀行 支店
No	3014188	B
氏名(フリガナ)		様
料金		日附印
備考		

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

払込金受入票 (振込依頼書)

口座記号番号	001409	通常払込 料金加入 者負担
加入者名	ダイガクニューシセンター	
金額	880043	
振込先	大学入試センター	
金額	12000	
振込先	電信扱	銀行 支店 普通
No	3014188	支払期限2013年10月11日
氏名(フリガナ)	3014188	は必ず氏名の前に打電してください。
(電話番号)		
料金		日附印
備考		

各票の記載事項に間違いのないことを確かめください。

振替払込請求書兼受領証
(振込金(兼手数料)受領書)

口座記号番号	001409	通常払込 料金加入 者負担
加入者名	ダイガクニューシセンター	
金額	880043	
振込先	大学入試センター	
金額	12000	
振込先	電信扱	銀行 支店 普通
No	3014188	D
氏名(フリガナ)		
(消費税込)		日附印
料金		
備考		

(ゆうちょ銀行)

振替払込受付証明書
(お客さま用)

(志願者→郵便局→志願者)	
銀行	
大学入試センター試験 検定料受付証明書	
No	3014188
払込金額	¥12,000
口座記号番号	00140-9-880043
加入者名	ダイガクニューシセンター 大学入試センター
志願者住所氏名(フリガナ)	E
日附印	
(承認番号 東証第1857号)	

